

**平成15年度・佐賀県県民満足度調査
【一般県民満足度調査】**

報 告 書

平成16年7月

佐賀県統括本部政策監グループ

目次

調査計画	1
標本構成	3
1 県民満足度について	4
1. 「佐賀県」への愛着度	5
2. 「佐賀県民である」ことへの誇り度	7
3. 「佐賀県」での継続居住意向	9
(1) 「佐賀県」での定住意向	9
(2) 今後住んでみたい地域	12
4. 生活環境についての満足度・期待度	14
(1) 1年前と比べた各生活環境満足度の変化	14
(2) 各生活環境の現状満足度	18
(3) 各生活環境に対する期待度	22
(4) 各生活環境の満足度・期待度の関連	26
5. 総合満足度	27
(1) 1年前と比べた「佐賀県での暮らし」の変化	27
(2) 「佐賀県での暮らし」の総合満足度	29
(3) 総合満足度別にみた生活環境面の満足度	32
6. 児童生徒満足度調査との比較	33
(1) 総合満足度の比較	33
(2) 定住意向の比較	34
2 施策・事業への考え方について	35
1. 「福祉・保健・医療分野」に対する考え方	36
(1) 「福祉・保健・医療分野」に対する意識	36
「福祉・保健・医療分野」の中で充実してほしい分野	36
「福祉の充実」にむけての財政の考え方	37
(2) 「高齢者福祉」に対する意識	40
「高齢者福祉」の中で充実してほしい内容	40
「公的年金制度」のあり方に対する考え方	41
(3) 「子育て支援・育児保険」に対する意識	44
(4) 「児童虐待対策」に対する意識	47
「児童虐待対策」の対応への評価	47
「児童虐待対策」の一環として充実してほしい内容	48
(5) 「障害者福祉」対応にむけて取り組むべき内容	51
(6) 「公共施設の民間への委譲・委託」に対する考え方	54
2. 「教育・文化・スポーツ分野」に対する考え方	56
(1) 「完全学校週5日制」に対する考え方	56
(2) 「県がスポーツ支援する」ことに対する考え方	59

3. 「交通・社会基盤整備分野」に対する考え方.....	62
(1) 「社会資本の整備」に対する意識.....	62
「社会資本の整備」の優先順位に対する考え方.....	62
「社会資本の整備」の進行に対する考え方.....	67
(2) 「道路交通網の整備」に対する考え方.....	69
(3) 「佐賀空港」に対する意識.....	71
「佐賀空港」の利用経験.....	71
「佐賀空港」の利用理由.....	72
「佐賀空港」にふさわしい新名称.....	74
4. 「都市景観分野」に対する考え方.....	76
(1) 「景観の良い街づくり」に対する意識.....	76
(2) 「屋外広告物規制」に対する考え方.....	77
5. 「経済・雇用分野」に対する考え方.....	80
(1) 「ショッピング」に関する利用状況.....	80
「郊外型の大型ショッピングセンター」の利用状況.....	80
「地元のお店や商店街」の利用状況.....	81
ショッピングの利用パターン.....	82
(2) 「ショッピング」環境に対する印象.....	84
「郊外型の大型ショッピングセンター」の印象.....	84
「地元のお店や商店街」の印象.....	86
「郊外型の大型ショッピングセンター」と「地元のお店や商店街」との印象の違い.....	88
(3) 「大型店規制緩和」に対する考え方.....	89
(4) 「雇用対策」を推進する上で優先すべき内容.....	92
6. 「農林水産業分野」に対する考え方.....	95
(1) 「農山村地域の整備」に対する考え方.....	95
(2) 「森林資源の管理」に対する考え方.....	98
(3) 「水源税の導入」に対する考え方.....	101
7. 「都道府県のあり方」に対する考え方.....	104
3 意見・要望について.....	106

*添付資料・調査票(本調査)

. 調査計画

< 県民満足度:本調査 >

1) 調査の目的

- ▶ 住民主体の行政とありうるために、県民の思う施策の満足度や重要度、優先順位を明らかにし、今後の施策へと反映させるための基礎資料とする。

2) 調査地域

- ▶ 佐賀県全域

3) 調査対象

- ▶ 佐賀県内に在住している20歳以上の男女

4) 調査方法

- ▶ 専門調査員による訪問留置・自記式アンケート(郵送回収)

(実施手順) 調査員が戸別訪問し、アンケート協力を依頼する
直接訪問により、性・年代など偏りのないアンケート協力設定を行う
次年度の調査協力を併せて依頼する
アンケートは対象者が自記式で記入後、郵送で返送してもらう
(返送先は電通リサーチ宛)
設定5日後くらいに、お礼状兼督促状を送る

5) 回収数

- ▶ 回収数 1094 サンプル

< web調査 >

1) 調査の目的

- ▶ 本調査の対象とならなかった人の意見を幅広く吸い上げ、本調査である県民満足度調査の参考資料とする。

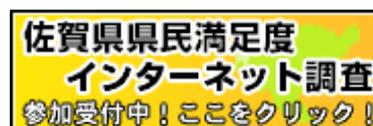
2) 調査対象

- ▶ 自発的参加の調査希望者とする。
佐賀県居住者を基本とするが、県外者も拒まない

3) 調査方法

- ▶ 佐賀県ホームページからの「オープンアクセス型」インターネット調査

(実施手順) 期間を区切り、佐賀県ホームページにアンケート協力告知のバナーを貼る
バナーよりアンケートサイトへ呼びこむ
対象者が回答



4) 回収数

- ▶ 109サンプル
-

< 有識者・専門家調査 >

1) 調査の目的

- ▶ 専門家(有識者)による佐賀県への評価を把握し、本調査である県民満足度調査の参考資料とする。

2) 調査地域

- ▶ 佐賀県全域

3) 調査対象

- ▶ 県内各界の専門家(有識者)
県内在住の国の職員
県内市町村職員

4) 調査方法

- ▶ 郵送による自記式アンケート
対象者の抽出 調査票の発送 調査票の回収(すべて県が実施)

5) 回収数

県内各界の専門家(有識者)及び県内在住の国の職員	: 112サンプル
県内市町村職員	: 156サンプル
合 計	: 268サンプル

標本構成

< 県民満足度:本調査 >

全 体	100.0 (1094)	全 体	100.0 (1094)
性別		本人職業別	
男性	47.6 (521)	農林漁業	8.7 (95)
女性	52.3 (572)	建築・土木業	5.4 (59)
無回答	0.1 (1)	製造業	7.3 (80)
年齢別		電気・ガス・水道業	2.6 (28)
20～24歳	7.7 (84)	運輸・通信業	2.0 (22)
25～29歳	8.1 (89)	卸売・小売業・飲食業	7.4 (81)
30～34歳	7.3 (80)	金融・保険業	2.0 (22)
35～39歳	8.4 (92)	サービス業	12.6 (138)
40～44歳	9.8 (107)	公務(官公庁など)	6.0 (66)
45～49歳	10.6 (116)	アルバイト・パート	9.5 (104)
50～54歳	11.7 (128)	学生	1.4 (15)
55～59歳	9.6 (105)	専業主婦・主夫	23.1 (253)
60～64歳	10.2 (112)	無職	10.2 (112)
65歳以上	16.5 (181)	その他	1.5 (16)
未既婚別		無回答	0.3 (3)
未婚	15.4 (169)	居住地別	
既婚(配偶者あり)	76.1 (833)	佐賀市・多久市・佐賀郡・小城郡	37.3 (408)
既婚(現在、配偶者と離別又は死別)	8.3 (91)	唐津市・伊万里市・東松浦郡・西松浦郡	23.1 (253)
無回答	0.1 (1)	鳥栖市・三養基郡・神埼郡	19.9 (218)
		武雄市・鹿島市・杵島郡・藤津郡	19.6 (214)
		無回答	0.1 (1)

< web調査 >

全 体	100.0 (109)	全 体	100.0 (109)
性別		未既婚別	
男性	75.2 (82)	未婚	33.0 (36)
女性	24.8 (27)	既婚(配偶者あり)	63.3 (69)
年齢別		既婚(現在、配偶者と離別又は死別)	3.7 (4)
19歳以下	1.8 (2)	居住地別	
20～24歳	4.6 (5)	佐賀市・多久市・佐賀郡・小城郡	57.8 (63)
25～29歳	14.7 (16)	唐津市・伊万里市・東松浦郡・西松浦郡	16.5 (18)
30～34歳	11.0 (12)	鳥栖市・三養基郡・神埼郡	10.1 (11)
35～39歳	20.2 (22)	武雄市・鹿島市・杵島郡・藤津郡	12.8 (14)
40～44歳	14.7 (16)	佐賀県以外の九州	2.8 (3)
45～49歳	9.2 (10)	その他	0.0 (0)
50～54歳	7.3 (8)		
55～59歳	10.1 (11)		
60～64歳	3.7 (4)		
65歳以上	2.8 (3)		

< 有識者・専門家調査 >

全 体	100.0 (268)
対象者タイプ	
県内専門家・国の職員	41.8 (112)
県内市町村職員	58.2 (156)

*数値は全体数を100とした%・()は実数

1 県民満足度について

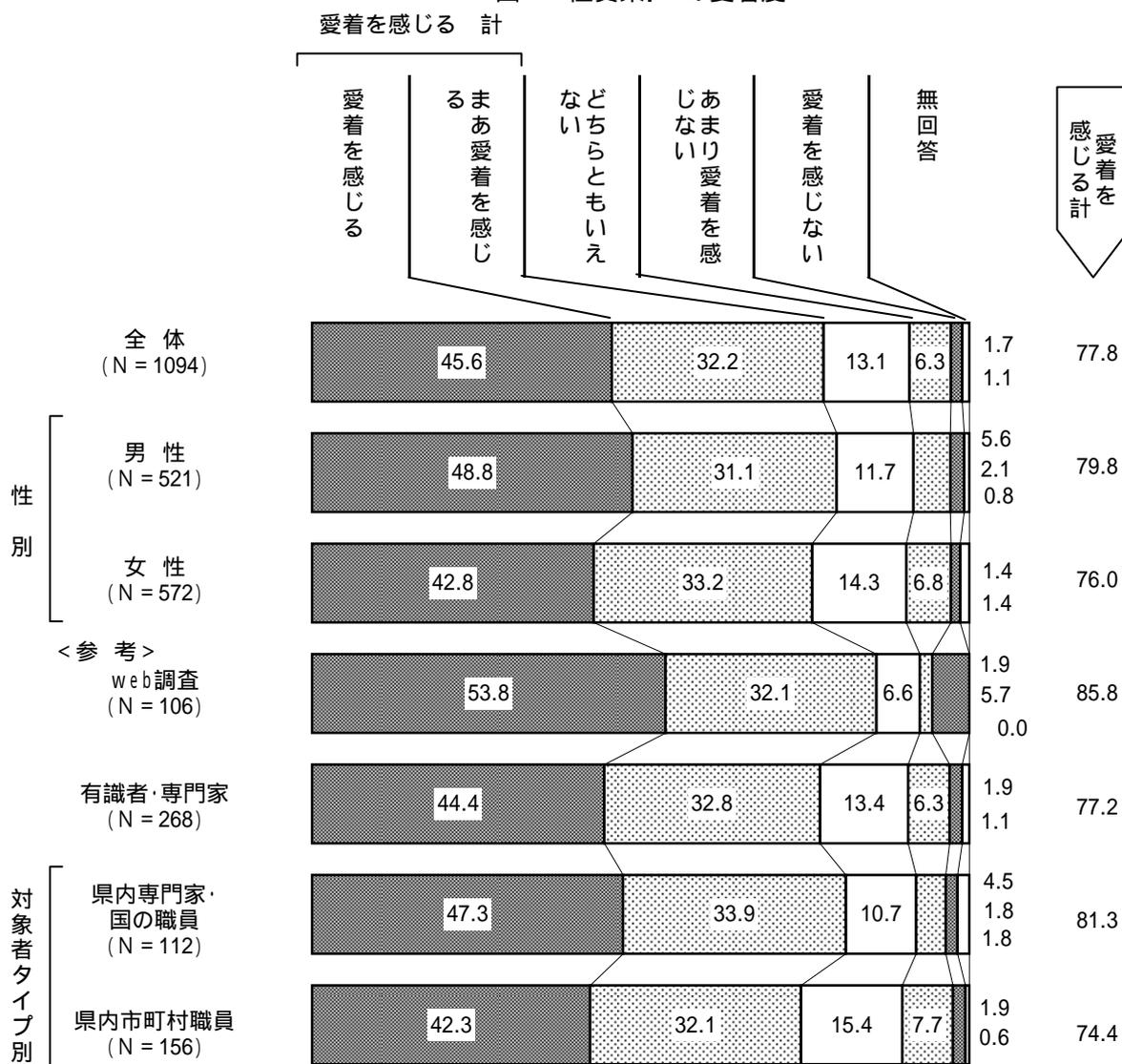
1. 「佐賀県」への愛着度

県民の78%が、佐賀県に対して愛着を感じている。
 (「愛着を感じる」：46%+「まあ愛着を感じる」：32%)

性別にみると、女性(76%)より男性(80%)で若干ではあるが、愛着度が高い。

有識者・専門家調査の結果をみると、県内専門家・国の職員で愛着を感じている人が8割を超えている。

図1 「佐賀県」への愛着度



注) 数値は回収数を100とした%

* 階層別にみた傾向

- ・ 佐賀県への愛着を強く感じているのは、男女とも60代以上の高年齢層である。逆に、愛着度が最も低いのは女性30代・既婚層である。
- ・ 居住年数が長いほど愛着も感じられ、40年以上佐賀県に住んでいる人の半数以上が強い愛着を感じている。
- ・ 佐賀市エリア居住層では他エリア居住層に比べ、愛着が強い。一方、唐津や鳥栖市エリア居住層では、やや愛着度は低い傾向にある。
- ・ 1年前と比べて生活の満足度が高くなった・現在満足している層では6割前後が強い愛着を示しているのに対し、低い・満足していない層になると愛着度も大きく低下する。

表1 階層別にみた「佐賀県」への愛着度

	回 収 数	愛 着 を 感 じ る 計	ま あ 愛 着 を 感 じ る		な ど ち ら と も い え	計 愛 着 を 感 じ な い
			愛 着 を 感 じ る	ま あ 愛 着 を 感 じ る		
全 体	1094	77.8	45.6	32.2	13.1	8.0
< 性・年齢・未既婚別 >						
男 性	521	79.8	48.8	31.1	11.7	7.7
20代・未婚	63	76.2	42.9	33.3	14.3	9.5
20代・既婚	29	86.2	48.3	37.9	6.9	6.9
30代・未婚	20	80.0	45.0	35.0	15.0	5.0
30代・既婚	61	78.7	41.0	37.7	11.5	9.8
40代	102	77.5	48.0	29.4	13.7	8.8
50代	114	79.8	48.2	31.6	10.5	8.8
60代以上	132	82.6	56.8	25.8	10.6	4.5
女 性	572	76.0	42.8	33.2	14.3	8.2
20代・未婚	50	82.0	46.0	36.0	10.0	6.0
20代・既婚	31	77.4	25.8	51.6	12.9	9.7
30代・未婚	10	90.0	20.0	70.0	0.0	10.0
30代・既婚	81	67.9	30.9	37.0	16.0	14.8
40代	121	70.2	33.1	37.2	19.8	9.9
50代	119	79.0	50.4	28.6	14.3	5.9
60代以上	160	79.4	54.4	25.0	11.9	5.6
< 居住年数別 >						
40年以上	320	81.3	55.6	25.6	11.3	5.0
20～40年未満	394	79.9	45.2	34.8	12.9	6.3
5～20年未満	253	74.7	37.5	37.2	13.8	11.5
5年未満	127	68.5	37.8	30.7	16.5	14.2
< 居住地域別 >						
佐賀市エリア	408	82.6	53.7	28.9	8.8	6.9
唐津市エリア	253	71.5	36.8	34.8	18.6	9.1
鳥栖市エリア	218	72.0	37.6	34.4	14.2	13.3
武雄市エリア	214	81.8	49.1	32.7	13.6	3.7
< 1年前と比べた満足度別 >						
高くなった計	208	88.5	59.6	28.8	8.2	1.9
高くなった	20	80.0	65.0	15.0	10.0	5.0
やや高くなった	188	89.4	59.0	30.3	8.0	1.6
どちらともいえない	678	78.3	44.0	34.4	12.7	8.1
低くなった計	195	64.6	36.4	28.2	20.0	14.9
やや低くなった	143	69.2	38.5	30.8	18.9	11.2
低くなった	52	51.9	30.8	21.2	23.1	25.0
< 現在の満足度別 >						
満足している計	483	91.7	59.4	32.3	5.2	1.7
満足している	37	83.8	67.6	16.2	10.8	2.7
まあ満足している	446	92.4	58.7	33.6	4.7	1.6
どちらともいえない	342	72.2	36.3	36.0	18.7	8.2
満足していない計	255	58.4	31.0	27.5	21.2	20.4
あまり満足していない	203	63.1	34.5	28.6	21.2	15.8
満足していない	52	40.4	17.3	23.1	21.2	38.5

注) 数値は回収数を100とした%

は全体値よりも5ポイント以上高い数値、以下同様

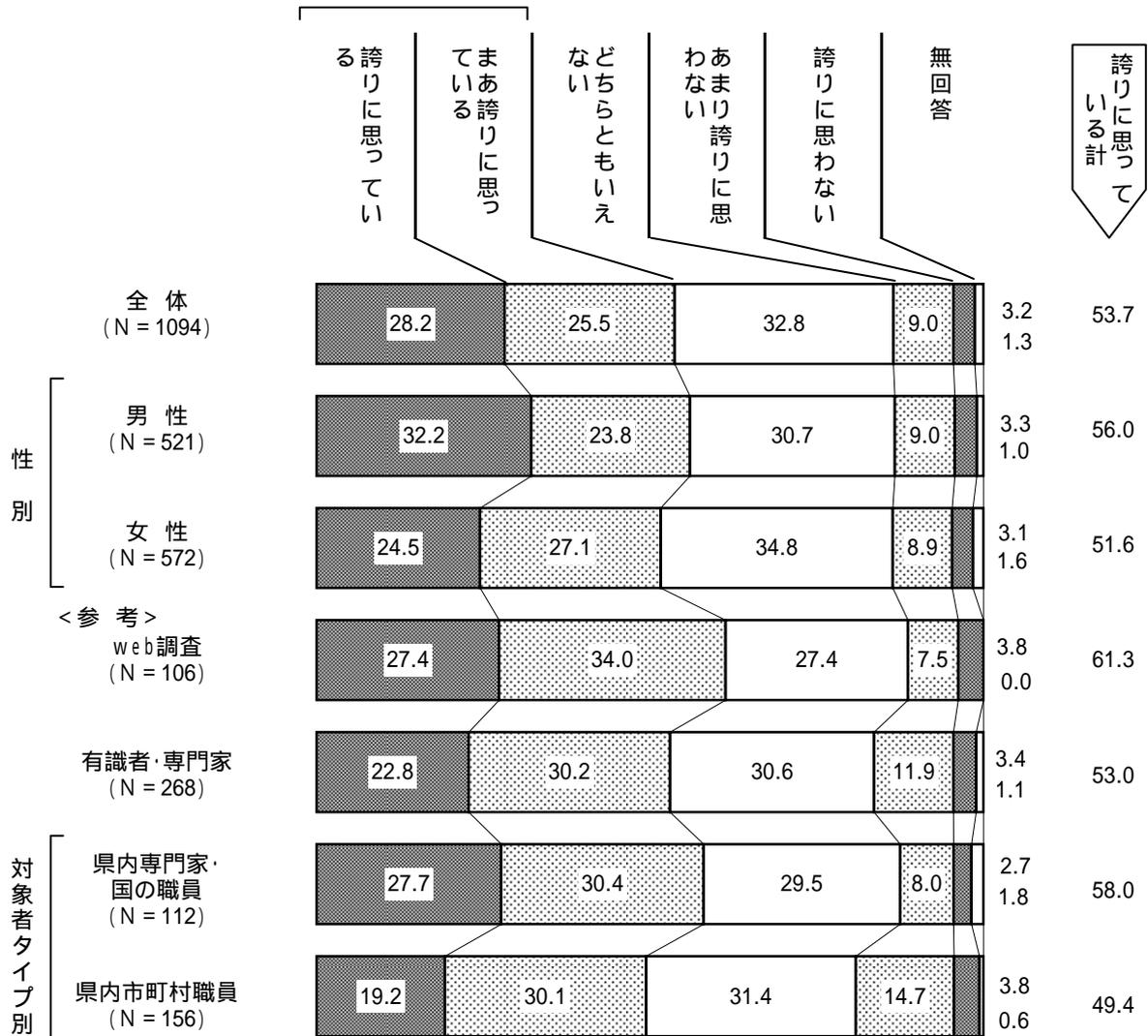
2. 「佐賀県民である」ことへの誇り度

『佐賀県民であること』に関して、「誇りに思っている」県民は54%である。
 (「誇りに思っている」：28%+「まあ誇りに思っている」：26%)

愛着度と同じく、男性(56%)で誇り度も高い(女性：52%)。

有識者・専門家調査の結果をみると、県内専門家・国の職員で誇りに思っている人が6割近くみられ、多い。

図2 「佐賀県民である」ことへの誇り度
 誇りに思っている 計



注) 数値は回収数を100とした%

* 階層別にみた傾向

- ・愛着度と同じく、男性50代以上、女性60代以上と高齢層で誇りに感じられている。逆に、最も誇りに感じている人が少ないのは、女性20代・既婚層である。
- ・居住年数別にみても、愛着度と同じく長い層ほど誇り度も高い。5年未満の居住層では「誇りに思う」人は4割で、「思わない(どちらともいえない含む)」の方が6割と多い。
- ・愛着を強く感じている層では8割が誇りに思い、半数強の人が強く誇りに思っている。
- ・1年前と比べて満足度が高くなった・現在満足している層では半数強の人が強い誇りを感じているのに対し、低くなった・満足していない層になると誇りに思う人も2割程度に低下する。

表2 階層別にみた「佐賀県民である」ことへの誇り度

	回収数	い誇りに思っている計	て誇りに思っている計	思まつて誇りに思っている計	えどちらともいえない計	い誇りに思っていない計
全体	1094	53.7	28.2	25.5	32.8	12.2
<性・年齢・未既婚別>						
男性	521	56.0	32.2	23.8	30.7	12.3
20代・未婚	63	47.6	25.4	22.2	38.1	14.3
20代・既婚	29	44.8	20.7	24.1	34.5	20.7
30代・未婚	20	55.0	20.0	35.0	40.0	5.0
30代・既婚	61	45.9	23.0	23.0	41.0	13.1
40代	102	55.9	32.4	23.5	27.5	16.7
50代	114	60.5	34.2	26.3	27.2	11.4
60代以上	132	63.6	42.4	21.2	25.8	7.6
女性	572	51.6	24.5	27.1	34.8	12.1
20代・未婚	50	48.0	16.0	32.0	40.0	10.0
20代・既婚	31	29.0	9.7	19.4	54.8	16.1
30代・未婚	10	50.0	20.0	30.0	30.0	20.0
30代・既婚	81	40.7	17.3	23.5	40.7	17.3
40代	121	47.9	19.0	28.9	38.0	14.0
50代	119	52.1	29.4	22.7	38.7	8.4
60代以上	160	65.0	34.4	30.6	21.3	10.0
<居住年数別>						
40年以上	320	65.3	37.2	28.1	22.8	8.8
20～40年未満	394	51.8	27.7	24.1	36.8	10.7
5～20年未満	253	48.2	22.9	25.3	33.6	18.2
5年未満	127	40.9	17.3	23.6	44.1	14.2
<居住地域別>						
佐賀市エリア	408	55.6	30.1	25.5	32.4	10.3
唐津市エリア	253	48.6	24.1	24.5	36.0	14.6
鳥栖市エリア	218	48.2	24.3	23.9	33.9	16.5
武雄市エリア	214	61.2	33.2	28.0	29.0	8.9
<佐賀県への愛着度別>						
愛着を感じる計	851	67.1	35.6	31.5	27.6	5.2
愛着を感じる	499	82.2	55.9	26.3	15.2	2.6
まあ愛着を感じる	352	45.7	6.8	38.9	45.2	8.8
どちらともいえない	143	9.8	2.8	7.0	72.0	17.5
愛着を感じない計	88	2.3	1.1	1.1	23.9	73.9
あまり愛着を感じない	69	2.9	1.4	1.4	27.5	69.6
愛着を感じない	19	0.0	0.0	0.0	10.5	89.5
<1年前と比べた満足度別>						
高くなった計	208	69.2	41.3	27.9	21.2	7.7
高くなった	20	75.0	55.0	20.0	15.0	5.0
やや高くなった	188	68.6	39.9	28.7	21.8	8.0
どちらともいえない	678	51.2	25.7	25.5	36.4	11.4
低くなった計	195	46.2	24.1	22.1	33.3	20.0
やや低くなった	143	50.3	26.6	23.8	32.9	16.1
低くなった	52	34.6	17.3	17.3	34.6	30.8
<現在の満足度別>						
満足している計	483	69.6	40.8	28.8	23.4	5.2
満足している	37	73.0	56.8	16.2	18.9	5.4
まあ満足している	446	69.3	39.5	29.8	23.8	5.2
どちらともいえない	342	44.4	18.1	26.3	42.4	12.3
満足していない計	255	35.3	18.0	17.3	38.8	25.9
あまり満足していない	203	38.9	19.7	19.2	38.9	22.2
満足していない	52	21.2	11.5	9.6	38.5	40.4

注) 数値は回収数を100とした%

3. 「佐賀県」での継続居住意向

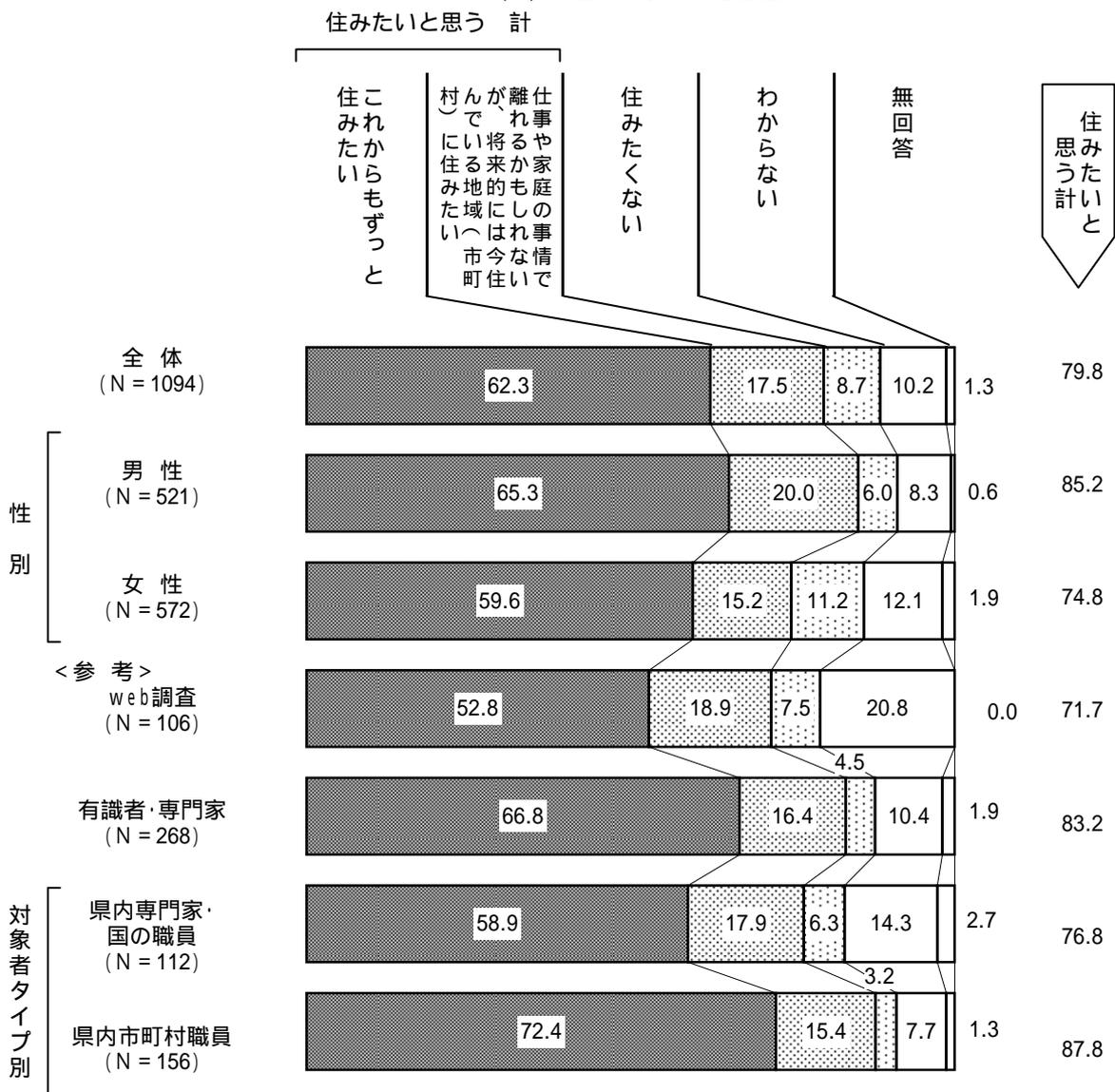
(1) 「佐賀県」での定住意向

県民の80%が「佐賀県」での定住意向を示している。
また、62%が「これからも今住んでいる地域（市町村）にずっと住みたい」と強い定住意識者である。

愛着度、県民であることの誇り度と同じく、定住意向も男性で高い。
男性の約2/3が「これからも今住んでいる地域にずっと住みたい」強い意向を示している。

有識者・専門家調査の結果をみると、愛着度や県民であることの誇り度については、県内
専門家・国の職員が高かったのに対し、定住意向になると県内市町村職員で高い。

図3(1) 「佐賀県」での定住意向



注) 数値は回収数を100とした%

* 階層別にみた傾向

- ・ これからもずっと住みたいと強い意向を示しているのは、男性40代以上と女性60代以上である。女性20・30代の既婚層では他層に比べ、「住みたくない」という回答が多い。
- ・ 居住年数の短い層ほど定住意向が低く、5年未満の層では1/4ほどが「住みたくない」としている。
- ・ 佐賀県に愛着を感じない、誇りに思わない人の3～4割は「住みたくない」と考えている。
- ・ 現在、あまり満足していない層での「住みたくない」人は1割台であるが、満足していない層になると3割にまで増える。

表3(1) 階層別にみた「佐賀県」での定住意向

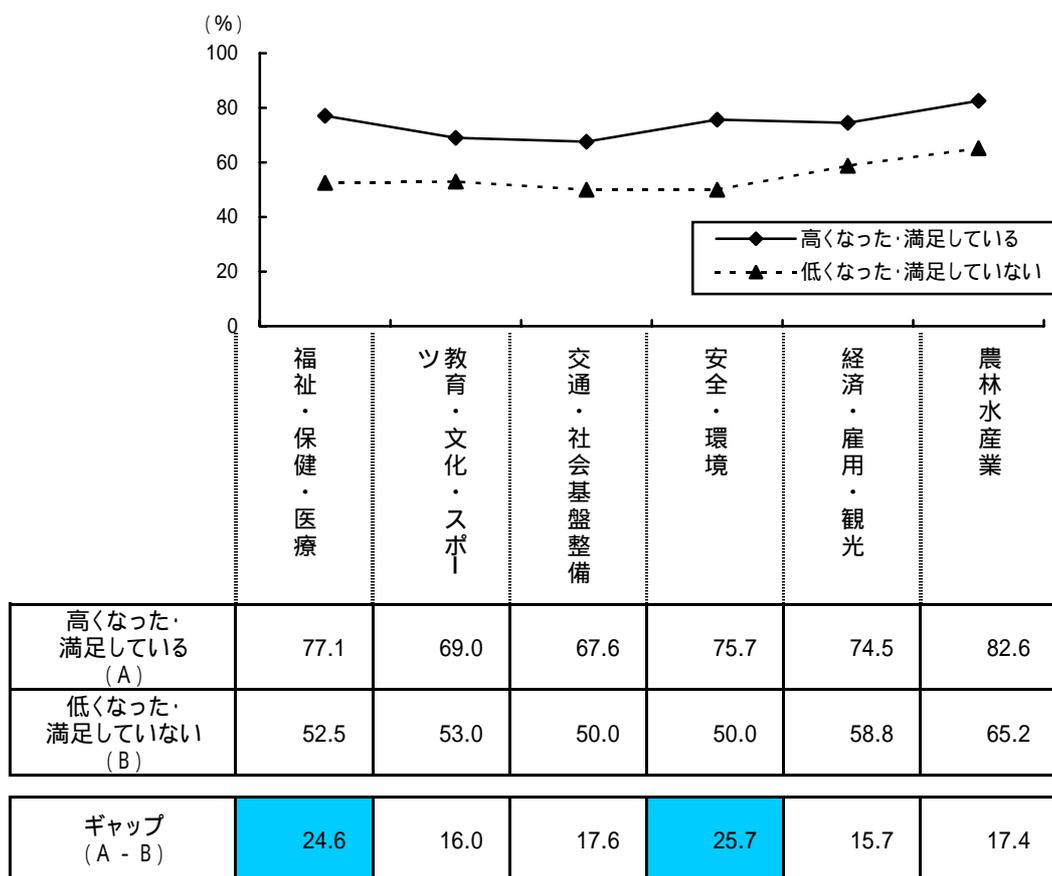
	回収数	計住みたいと思う	いずれつかとも住みたい	にん來れ離住でのなれみいにいるたるはがかい地今、も域住將し	住みたくない	わからない
全体	1094	79.8	62.3	17.5	8.7	10.2
< 性・年齢・未婚別 >						
男性	521	85.2	65.3	20.0	6.0	8.3
20代・未婚	63	74.6	34.9	39.7	4.8	20.6
20代・既婚	29	82.8	55.2	27.6	10.3	6.9
30代・未婚	20	85.0	55.0	30.0	5.0	10.0
30代・既婚	61	77.0	59.0	18.0	9.8	13.1
40代	102	88.2	67.6	20.6	4.9	6.9
50代	114	83.3	70.2	13.2	8.8	7.9
60代以上	132	93.9	80.3	13.6	2.3	1.5
女性	572	74.8	59.6	15.2	11.2	12.1
20代・未婚	50	62.0	30.0	32.0	8.0	28.0
20代・既婚	31	64.5	45.2	19.4	19.4	16.1
30代・未婚	10	80.0	50.0	30.0	10.0	10.0
30代・既婚	81	67.9	53.1	14.8	18.5	12.3
40代	121	70.2	55.4	14.9	14.0	15.7
50代	119	80.7	64.7	16.0	9.2	8.4
60代以上	160	83.1	75.0	8.1	6.3	6.3
< 居住年数別 >						
40年以上	320	88.1	81.9	6.3	4.7	4.4
20～40年未満	394	82.0	61.9	20.1	5.6	11.7
5～20年未満	253	75.1	49.4	25.7	10.7	13.8
5年未満	127	61.4	40.2	21.3	24.4	13.4
< 居住地域別 >						
佐賀市エリア	408	81.6	61.3	20.3	9.1	7.6
唐津市エリア	253	81.4	65.2	16.2	7.9	10.3
鳥栖市エリア	218	74.8	56.0	18.8	8.7	15.1
武雄市エリア	214	79.4	67.3	12.1	8.9	10.3
< 佐賀県への愛着度別 >						
愛着を感じる計	851	89.5	72.6	16.9	3.4	6.8
愛着を感じる	499	93.4	82.0	11.4	2.4	4.2
まあ愛着を感じる	352	84.1	59.4	24.7	4.8	10.5
どちらともいえない	143	55.2	32.9	22.4	17.5	26.6
愛着を感じない計	88	35.2	18.2	17.0	46.6	18.2
あまり愛着を感じない	69	40.6	21.7	18.8	40.6	18.8
愛着を感じない	19	15.8	5.3	10.5	68.4	15.8
< 佐賀県民であることの誇り度別 >						
誇りに思っている計	587	94.4	80.1	14.3	1.7	3.7
誇りに思っている	308	95.8	85.4	10.4	1.3	2.9
まあ誇りに思っている	279	92.8	74.2	18.6	2.2	4.7
どちらともいえない	359	70.8	47.6	23.1	11.4	17.5
誇りに思っていない計	134	47.0	29.1	17.9	32.8	20.1
あまり誇りに思わない	99	57.6	35.4	22.2	23.2	19.2
誇りに思わない	35	17.1	11.4	5.7	60.0	22.9
< 1年前と比べた満足度別 >						
高くなった計	208	89.4	74.5	14.9	5.8	3.4
高くなった	20	85.0	70.0	15.0	5.0	5.0
やや高くなった	188	89.9	75.0	14.9	5.9	3.2
どちらともいえない	678	78.5	61.4	17.1	8.6	11.9
低くなった計	195	73.8	52.3	21.5	12.8	12.3
やや低くなった	143	76.2	55.9	20.3	10.5	11.9
低くなった	52	67.3	42.3	25.0	19.2	13.5
< 現在の満足度別 >						
満足している計	483	89.0	73.3	15.7	2.7	6.4
満足している	37	89.2	86.5	2.7	2.7	5.4
まあ満足している	446	89.0	72.2	16.8	2.7	6.5
どちらともいえない	342	78.4	59.1	19.3	10.5	10.5
満足していない計	255	63.9	45.5	18.4	18.0	17.6
あまり満足していない	203	68.0	49.3	18.7	14.8	16.7
満足していない	52	48.1	30.8	17.3	30.8	21.2

注) 数値は回収数を100とした%

* 各生活環境の満足度変遷別にみた傾向

- ・1年前と比べて、各生活環境の「満足度が高くなった」かつ「現在満足している」と回答した者、及び「満足度が低くなった」かつ「現在満足していない」と回答した者の定住意向（「これからもずっと住みたい」と回答した割合）を比較した。
- ・「福祉・保健・医療」「安全・環境」面に対する評価が高くなった・満足している層と低くなった・満足していない層で「ずっと住みたい」との意向率のギャップが大きい。特に、この「福祉・保健・医療」「安全・環境」面に関しての満足度アップが定住意向を高める要素になり得ると考えられる。

図3(1)-2 各生活環境の満足度変遷別にみた定住意向
（「これからもずっと住みたい」との回答率）



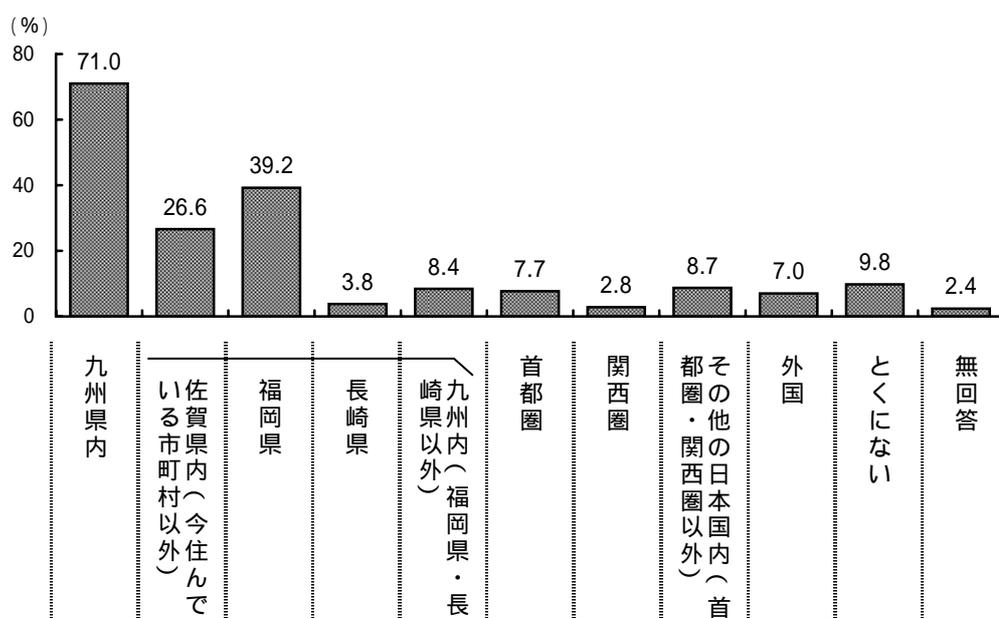
(2) 今後住んでみたい地域

現地域から「離れるかもしれない」「住みたくない」との意向を示す人に、今後住んでみたい地域を聞いたところ、「九州県内」をあげる人が71%と圧倒的に多い。具体的には、「福岡県」(39%)がトップであるが、「今住んでいる市町村以外の佐賀県内」と佐賀県を離れたくない人が27%みられた。

女性で「福岡県」をはじめとする「九州県内」への意向が高いものの、それ以外では男女による大きな差はみられない。

参考データではあるが、web調査では男性、未婚者が多いこともあり、「首都圏」や「外国」への意向を示す人が多くみられた。

図3(2) 今後住んでみたい地域(N = 286)



性別	九州県内		佐賀県内(今住んでいる市町村以外)		福岡県		長崎県		九州内(福岡県・長崎県以外)		首都圏		関西圏		その他(日本国内(首都圏・関西圏以外))		外国		とくにない		無回答	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
男性	135	67.4	26.7	34.8	3.7	8.9	8.1	3.7	7.4	6.7	11.9	3.7										
女性	151	74.2	26.5	43.0	4.0	7.9	7.3	2.0	9.9	7.3	7.9	1.3										

< 参考 >

調査方法	人数	九州県内	佐賀県内(今住んでいる市町村以外)	福岡県	長崎県	九州内(福岡県・長崎県以外)	首都圏	関西圏	その他(日本国内(首都圏・関西圏以外))	外国	とくにない	無回答
web調査	28	*	28.6	50.0	17.9	10.7	17.9	10.7	7.1	17.9	10.7	0.0
有識者・専門家	56	66.1	16.1	46.4	3.6	5.4	10.7	0.0	3.6	16.1	10.7	8.9
対象者別	県内専門家・国の職員	27	70.4	7.4	55.6	0.0	7.4	14.8	0.0	7.4	11.1	3.7
	県内市町村職員	29	62.1	24.1	37.9	6.9	3.4	6.9	0.0	20.7	10.3	13.8

注) 数値は現地域から離れたいと意向を示した人を100とした%

* 階層別にみた傾向

- ・ 性・年齢・未既婚別にみても、概ね「福岡県」もしくは「佐賀県内」が中心で、20代未婚層では「首都圏」、60代以上では「首都圏・関西圏以外の日本国内」での居住意向が高い。また、女性60代以上では「外国」への移住も高くなっている。
- ・ 佐賀市エリア居住層では「佐賀県内」での居住意向が高いのに対し、唐津市・鳥栖市エリア居住層では「福岡県」での居住意向が最も高い。

表3(2) 階層別にみた今後住んでみたい地域

	と現地域の意向から離れた人	九州県内	佐賀県内(今住んでいる市町村以外)	福岡県	長崎県	九州内(福岡県・長崎県以外)	首都圏	関西圏	その他の日本国内(首都圏・関西圏以外)	外国	とくにない	無回答
全体	286	71.0	26.6	39.2	3.8	8.4	7.7	2.8	8.7	7.0	9.8	2.4
< 性・年齢・未既婚別 >												
男性	135	67.4	26.7	34.8	3.7	8.9	8.1	3.7	7.4	6.7	11.9	3.7
20代・未婚	28	60.7	17.9	35.7	3.6	10.7	14.3	0.0	10.7	10.7	21.4	0.0
20代・既婚	11	63.6	36.4	27.3	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0
30代・未婚	7	42.9	0.0	42.9	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0
30代・既婚	17	82.4	17.6	52.9	0.0	11.8	11.8	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9
40代	26	76.9	23.1	38.5	3.8	19.2	3.8	3.8	0.0	7.7	11.5	0.0
50代	25	72.0	48.0	32.0	4.0	0.0	8.0	8.0	8.0	0.0	12.0	0.0
60代以上	21	57.1	28.6	19.0	4.8	9.5	0.0	0.0	14.3	4.8	9.5	19.0
女性	151	74.2	26.5	43.0	4.0	7.9	7.3	2.0	9.9	7.3	7.9	1.3
20代・未婚	20	80.0	25.0	55.0	5.0	10.0	15.0	0.0	5.0	15.0	5.0	0.0
20代・既婚	12	58.3	33.3	25.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	16.7	8.3
30代・未婚	4	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
30代・既婚	27	74.1	29.6	29.6	7.4	14.8	3.7	0.0	14.8	0.0	7.4	0.0
40代	35	71.4	22.9	51.4	0.0	5.7	5.7	5.7	14.3	2.9	8.6	0.0
50代	30	86.7	36.7	40.0	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0	3.3	10.0	0.0
60代以上	23	69.6	13.0	47.8	0.0	8.7	21.7	0.0	17.4	21.7	0.0	4.3
< 居住地域別 >												
佐賀市エリア	120	65.8	32.5	30.8	4.2	6.7	12.5	3.3	10.8	8.3	11.7	1.7
唐津市エリア	61	73.8	23.0	45.9	4.9	9.8	3.3	3.3	6.6	3.3	9.8	4.9
鳥栖市エリア	60	80.0	15.0	55.0	1.7	13.3	6.7	1.7	3.3	5.0	10.0	0.0
武雄市エリア	45	68.9	31.1	31.1	4.4	4.4	2.2	2.2	13.3	11.1	4.4	4.4

注) 数値は現地域から離れたいと意向を示した人を100とした%

4. 生活環境についての満足度・期待度

(1) 1年前と比べた各生活環境満足度の変化

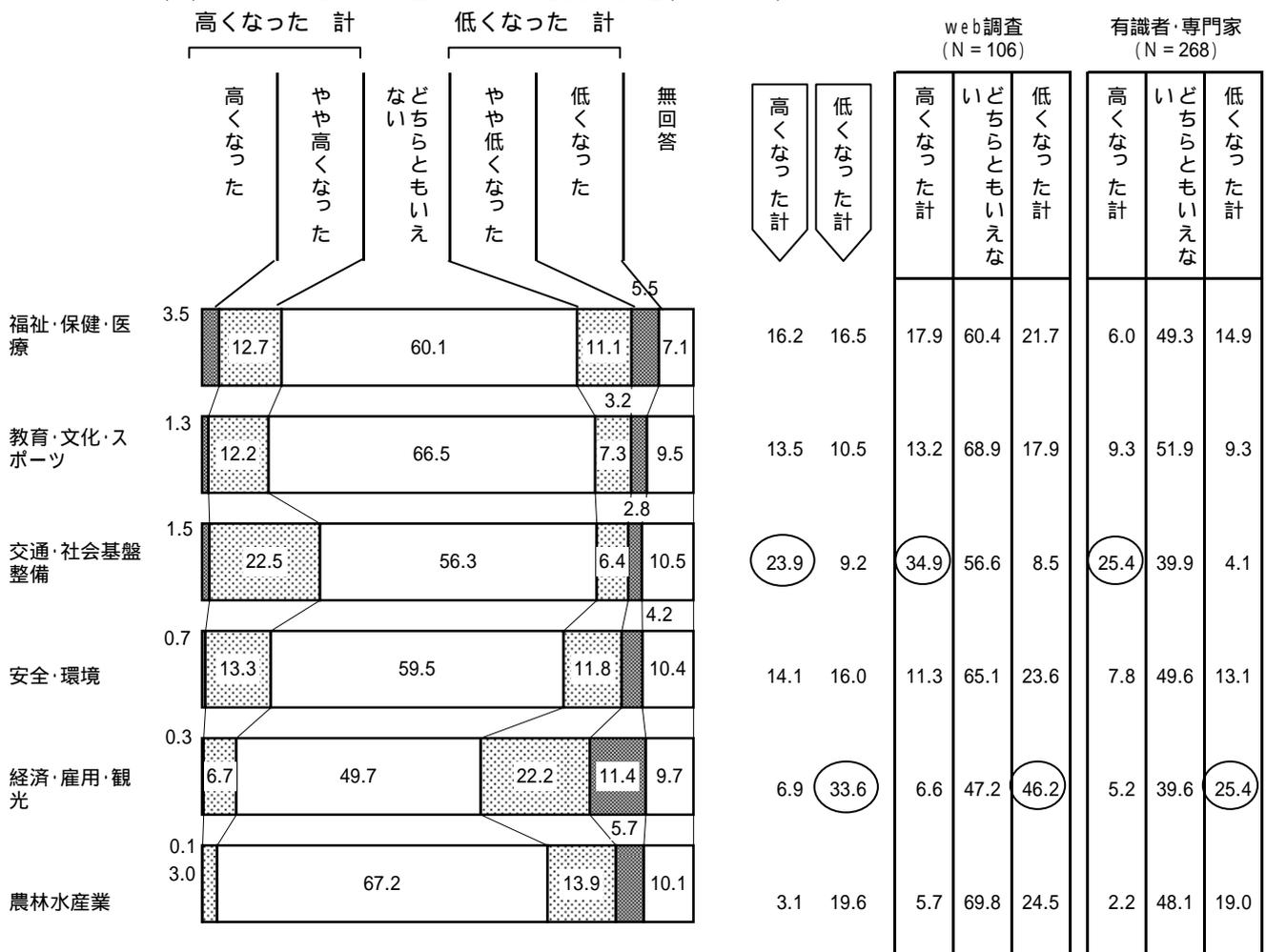
1年前と比べて、最も環境的に「高くなった」（高くなった+やや高くなった）との回答が高かったのは「交通・社会基盤整備」（24%）である。
以下、「福祉・保健・医療」（16%）、「安全・環境」（14%）、「教育・文化・スポーツ」（各14%）と続く。

概ね、各環境面とも「どちらともいえない」という回答が6割前後を占める中、「経済・雇用・観光」に関しては「どちらともいえない」が半数を切り、「低くなった」という回答が34%で最も高くなっている。

この傾向（「交通・社会基盤整備」高変化、「経済・雇用・観光」低変化）に関しては、web調査や有識者・専門家調査でも同様の結果がみられた。

図4(1) 1年前と比べた各生活環境満足度の変化(N=1094)

<参考>



注) 数値は回収数を100とした%

* 性別にみた傾向

- ・女性では男性に比べ、各生活環境の満足度の変化について「どちらともいえない」という回答が多い。
- それに対し、男性では『福祉・保健・医療』や『交通・社会基盤整備』の面では「高くなった」という回答、『経済・雇用・観光』や『農林水産業』については「低くなった」との満足度変化がみられる。

表4(1) 性別にみた1年前と比べた各生活環境満足度の変化

	回収数	福祉・保健・医療			教育・文化・スポーツ			交通・社会基盤整備		
		高くなった計	どちらともいえない	低くなった計	高くなった計	どちらともいえない	低くなった計	高くなった計	どちらともいえない	低くなった計
全体	1094	16.2	60.1	16.5	13.5	66.5	10.5	23.9	56.3	9.2
男性	521	18.8	58.9	16.5	14.0	63.9	12.1	26.3	54.3	9.0
女性	572	13.6	61.4	16.6	12.9	68.9	9.1	21.7	58.2	9.4

	回収数	安全・環境			経済・雇用・観光			農林水産業		
		高くなった計	どちらともいえない	低くなった計	高くなった計	どちらともいえない	低くなった計	高くなった計	どちらともいえない	低くなった計
全体	1094	14.1	59.5	16.0	6.9	49.7	33.6	3.1	67.2	19.6
男性	521	16.1	56.0	17.7	6.9	46.4	37.8	3.6	62.2	24.6
女性	572	12.2	62.6	14.5	7.0	52.6	29.9	2.6	71.9	15.0

注) 数値は回収数を100とした%

* 性・年齢・未既婚別にみた傾向

- ・『福祉・保健・医療』に関しては、男性50代以上で高くなったと満足感を得ているもののそれ以外の環境面に関しては、概ね男性20・30代で評価されている。
 ただ、『福祉・保健・医療』面は男性30代未婚層、『教育・文化・スポーツ』面は男性30代既婚層で「低くなった」と低調な評価となっている。
- ・また、『農林水産業』に関しては、男性40代以上で「低くなった」との満足度変化が他層に比べ高い。

表4(1)-2 性・年齢・未既婚別にみた1年前と比べた各生活環境満足度の変化

	回 収 数	福祉・保健・医療			教育・文化・スポーツ			交通・社会基盤整備		
		計高 く な っ た	い ど え ち な ら い と も	計低 く な っ た	計高 く な っ た	い ど え ち な ら い と も	計低 く な っ た	計高 く な っ た	い ど え ち な ら い と も	計低 く な っ た
全 体	1094	16.2	60.1	16.5	13.5	66.5	10.5	23.9	56.3	9.2
< 性・年齢・未既婚別 >										
男 性	521	18.8	58.9	16.5	14.0	63.9	12.1	26.3	54.3	9.0
20代・未婚	63	17.5	65.1	11.1	23.8	58.7	9.5	27.0	57.1	7.9
20代・既婚	29	20.7	51.7	17.2	20.7	55.2	13.8	31.0	55.2	3.4
30代・未婚	20	15.0	60.0	25.0	20.0	75.0	5.0	25.0	65.0	10.0
30代・既婚	61	14.8	70.5	14.8	13.1	62.3	19.7	36.1	49.2	11.5
40代	102	11.8	61.8	22.5	6.9	71.6	15.7	20.6	61.8	11.8
50代	114	21.9	58.8	14.9	11.4	70.2	9.6	28.9	51.8	10.5
60代以上	132	24.2	50.0	15.2	15.2	56.1	9.8	22.7	50.0	6.1
女 性	572	13.6	61.4	16.6	12.9	68.9	9.1	21.7	58.2	9.4
20代・未婚	50	8.0	62.0	24.0	14.0	72.0	8.0	34.0	56.0	4.0
20代・既婚	31	9.7	71.0	19.4	3.2	77.4	16.1	9.7	77.4	9.7
30代・未婚	10	10.0	80.0	10.0	10.0	80.0	10.0	30.0	60.0	10.0
30代・既婚	81	13.6	70.4	9.9	9.9	75.3	8.6	23.5	65.4	4.9
40代	121	13.2	63.6	19.0	10.7	71.9	13.2	23.1	60.3	10.7
50代	119	10.1	58.8	23.5	15.1	70.6	7.6	22.7	52.9	16.8
60代以上	160	19.4	53.8	10.6	16.3	58.8	6.3	16.9	53.8	6.9

	回 収 数	安全・環境			経済・雇用・観光			農林水産業		
		計高 く な っ た	い ど え ち な ら い と も	計低 く な っ た	計高 く な っ た	い ど え ち な ら い と も	計低 く な っ た	計高 く な っ た	い ど え ち な ら い と も	計低 く な っ た
全 体	1094	14.1	59.5	16.0	6.9	49.7	33.6	3.1	67.2	19.6
< 性・年齢・未既婚別 >										
男 性	521	16.1	56.0	17.7	6.9	46.4	37.8	3.6	62.2	24.6
20代・未婚	63	15.9	63.5	14.3	11.1	52.4	30.2	3.2	73.0	15.9
20代・既婚	29	24.1	62.1	3.4	17.2	51.7	20.7	6.9	72.4	10.3
30代・未婚	20	30.0	45.0	25.0	5.0	55.0	35.0	5.0	65.0	25.0
30代・既婚	61	19.7	59.0	19.7	8.2	57.4	32.8	1.6	77.0	19.7
40代	102	13.7	57.8	21.6	5.9	40.2	48.0	3.9	59.8	30.4
50代	114	15.8	53.5	22.8	5.3	43.0	45.6	3.5	59.6	26.3
60代以上	132	12.9	52.3	12.9	4.5	43.9	33.3	3.8	51.5	28.0
女 性	572	12.2	62.6	14.5	7.0	52.6	29.9	2.6	71.9	15.0
20代・未婚	50	12.0	70.0	12.0	8.0	62.0	20.0	0.0	84.0	10.0
20代・既婚	31	9.7	74.2	16.1	9.7	51.6	38.7	6.5	83.9	9.7
30代・未婚	10	10.0	60.0	20.0	10.0	70.0	20.0	0.0	90.0	10.0
30代・既婚	81	9.9	69.1	12.3	6.2	59.3	28.4	1.2	86.4	6.2
40代	121	12.4	66.9	16.5	5.0	53.7	37.2	1.7	76.0	16.5
50代	119	15.1	61.3	15.1	7.6	43.7	37.8	5.0	67.2	19.3
60代以上	160	11.9	52.5	13.8	7.5	51.3	21.3	2.5	57.5	18.1

注) 数値は回収数を100とした%

* 階層別にみた傾向

- ・居住地域を問わず、各地域とも「どちらともいえない」との回答が多い中、鳥栖市エリア居住層では『教育・文化・スポーツ』面が「高くなった」との評価が他地域に比べ高い。それに対し、唐津市エリア居住層では『経済・雇用・観光』『農林水産業』の評価が低くなっている。
- ・居住意向別にみると、住みたくない層では他層に比べ、『福祉・保健・医療』『教育・文化・スポーツ』といった環境面が低くなったとの回答が高い。

表4(1)-3 居住地域・居住意向別にみた1年前と比べた各生活環境満足度の変化

	回収数	福祉・保健・医療			教育・文化・スポーツ			交通・社会基盤整備		
		計高くなった	いどえちならimoto	計低くなった	計高くなった	いどえちならimoto	計低くなった	計高くなった	いどえちならimoto	計低くなった
全体	1094	16.2	60.1	16.5	13.5	66.5	10.5	23.9	56.3	9.2
< 居住地域別 >										
佐賀市エリア	408	14.0	60.5	17.2	11.8	66.4	11.0	20.6	58.6	7.8
唐津市エリア	253	16.6	58.5	19.8	11.5	67.6	11.9	26.5	55.7	9.5
鳥栖市エリア	218	19.7	61.5	12.8	19.7	63.8	9.2	27.5	55.0	9.6
武雄市エリア	214	16.4	59.8	15.4	13.1	67.8	9.3	23.8	53.7	11.2
< 現地域への居住意向別 >										
これからもずっと住みたい	682	19.1	58.9	15.2	14.7	66.1	9.2	25.5	54.8	8.5
将来的には住みたい	191	9.9	63.9	19.4	16.2	61.3	14.7	19.9	61.3	10.5
住みたくない	95	12.6	62.1	22.1	6.3	69.5	20.0	20.0	60.0	13.7

	回収数	安全・環境			経済・雇用・観光			農林水産業		
		計高くなった	いどえちならimoto	計低くなった	計高くなった	いどえちならimoto	計低くなった	計高くなった	いどえちならimoto	計低くなった
全体	1094	14.1	59.5	16.0	6.9	49.7	33.6	3.1	67.2	19.6
< 居住地域別 >										
佐賀市エリア	408	13.0	60.3	14.0	6.6	47.8	34.8	3.2	66.2	19.6
唐津市エリア	253	14.2	60.9	16.6	6.7	43.1	42.7	2.8	62.8	24.9
鳥栖市エリア	218	14.2	56.0	22.5	8.7	57.3	25.2	3.2	73.9	15.1
武雄市エリア	214	15.9	59.8	12.6	6.1	53.3	29.4	3.3	67.3	17.8
< 現地域への居住意向別 >										
これからもずっと住みたい	682	16.4	58.9	13.8	8.1	50.3	31.7	3.8	64.7	20.8
将来的には住みたい	191	11.5	57.6	22.0	5.2	41.4	45.5	3.1	67.0	20.9
住みたくない	95	10.5	64.2	20.0	7.4	52.6	35.8	1.1	80.0	14.7

注) 数値は回収数を100とした%

(2) 各生活環境の現状満足度

各生活環境の現状満足度をみると、1年前と比べて満足度変化が最も高かった『交通・社会基盤整備』（27%）をトップに、「福祉・保健・医療」（26%）、「教育・文化・スポーツ」（24%）、「安全・環境」（23%）の満足率（満足+まあ満足）が2割台で高い。ただ、「福祉・保健・医療」（満足していない計：27%）と『安全・環境』（24%）は「満足」と「満足していない」との回答が同程度で、評価が分かれる。

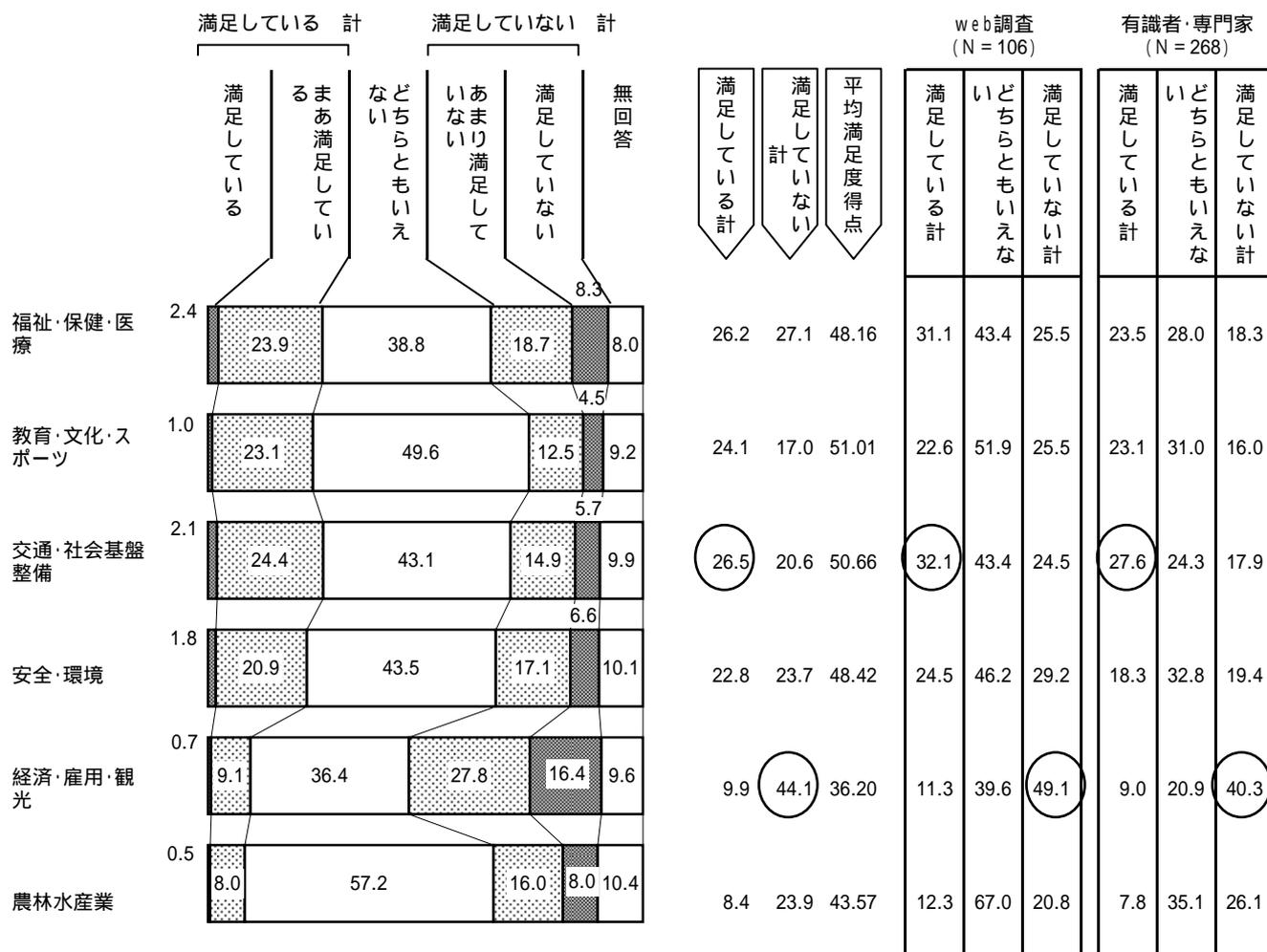
一方、『経済・雇用・観光』や『農林水産業』については、「満足している」率は10%を切り、「満足していない」という回答が大きく上回る。

特に、1年前と比べて「満足度が低くなった」との回答が目立った『経済・雇用・観光』で不満率（満足していない）が4割を超え高い。

100点満点の平均満足度得点でも、『経済・雇用・観光』が36点で最も低い。

図4(2) 各生活環境の現状満足度(N=1094)

<参考>



注) 数値は回収数を100とした%

平均満足度得点は「満足している」に100、「まあ満足している」に75、「どちらともいえない」に50、「あまり満足していない」に25、「満足していない」「無回答」に各0のウエイトを与えて算出

* 性別にみた傾向

- ・全般的に、女性で平均満足度得点が高い。
ただ、「満足している」率に着目すると、『交通・社会基盤整備』面に関しては男性で満足率がやや高くなっている。

表4(2) 性別にみた各生活環境の現状満足度

	回収数	福祉・保健・医療				教育・文化・スポーツ				交通・社会基盤整備			
		満足している計	どちらともいえない	満足していない計	平均満足度得点	満足している計	どちらともいえない	満足していない計	平均満足度得点	満足している計	どちらともいえない	満足していない計	平均満足度得点
全体	1094	26.2	38.8	27.1	48.16	24.1	49.6	17.0	51.01	26.5	43.1	20.6	50.66
男性	521	26.3	38.4	27.1	48.06	24.6	46.8	19.2	50.32	27.6	39.7	22.5	50.21
女性	572	26.0	39.2	27.1	48.20	23.6	52.3	15.0	51.59	25.5	46.0	18.9	51.06

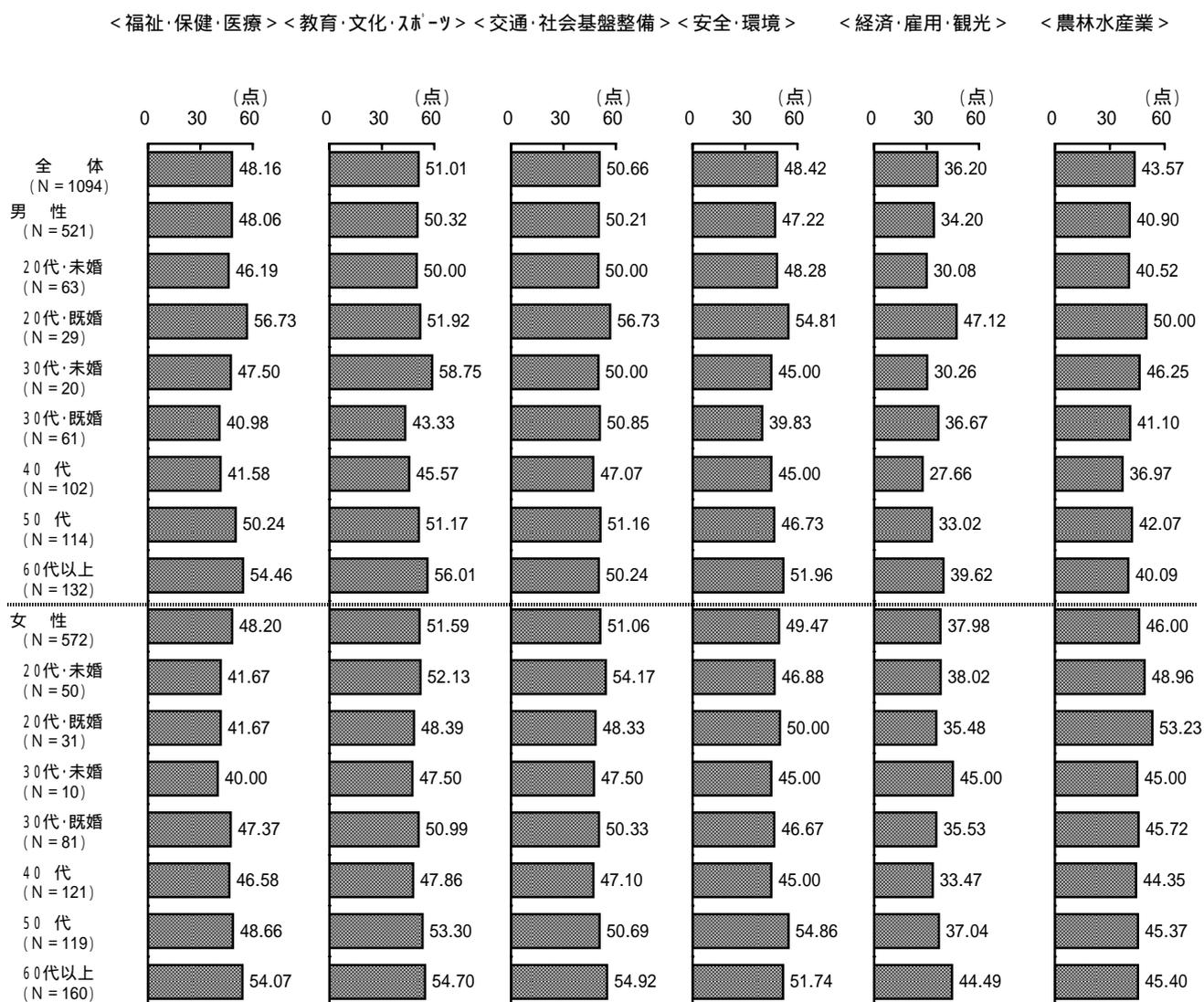
	回収数	安全・環境				経済・雇用・観光				農林水産業			
		満足している計	どちらともいえない	満足していない計	平均満足度得点	満足している計	どちらともいえない	満足していない計	平均満足度得点	満足している計	どちらともいえない	満足していない計	平均満足度得点
全体	1094	22.8	43.5	23.7	48.42	9.9	36.4	44.1	36.20	8.4	57.2	23.9	43.57
男性	521	21.1	42.4	26.1	47.22	8.8	32.4	48.9	34.20	6.7	53.2	29.8	40.90
女性	572	24.1	44.6	21.5	49.47	10.8	39.9	39.9	37.98	10.0	61.0	18.7	46.00

注) 数値は回収数を100とした%

* 性・年齢・未既婚別にみた傾向

- ・ 20代既婚男性で全般的に満足度が高い。
 ただ、『教育・文化・スポーツ』面は30代未婚男性、60代以上の男性、『安全・環境』面は50代女性、『農林水産業』は20代既婚女性で高くなっている。
- ・ 半面、30代既婚男性と40代男性で満足度が低い。
 30代既婚男性では『福祉・保健・医療』『教育・文化・スポーツ』『安全・環境』
 40代男性では『経済・雇用・観光』『農林水産業』が目立って低い。

図4(2)-2 性・年齢・未既婚別にみた生活環境の満足度
 (平均満足度得点)



注) 平均満足度得点は「満足している」に100、「まあ満足している」に75、「どちらともいえない」に50、「あまり満足していない」に25、「満足していない」「無回答」に各0のウエイトを与えて算出

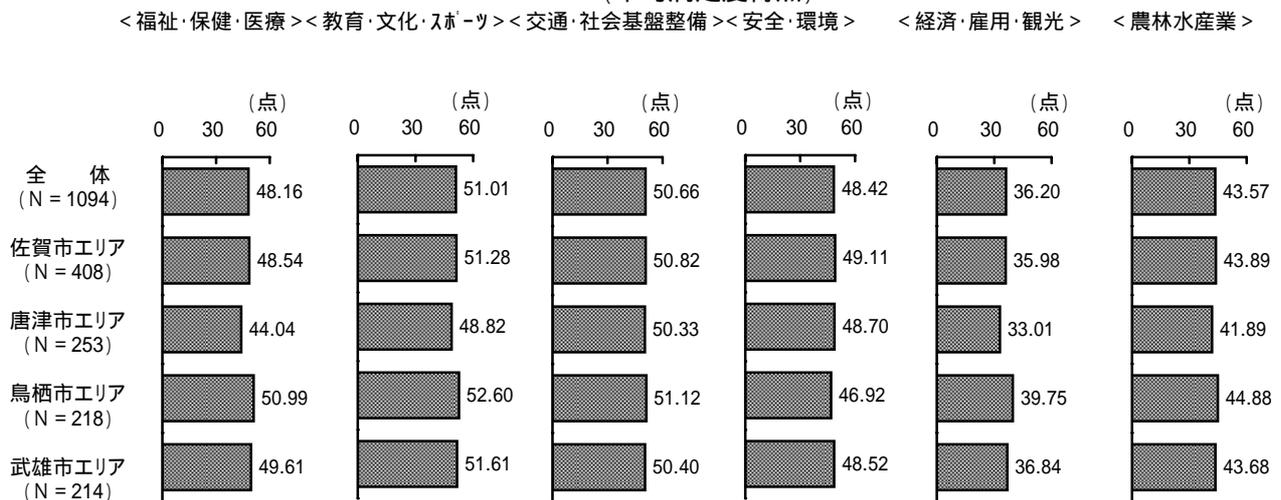
* 居住地域別にみた傾向

- ・鳥栖市エリア居住層で全般的に満足度が高い。但し、『安全・環境』面に関しては最も低調である。
- ・一方、最も満足度が低いのは唐津市エリア居住層で、特に『福祉・保健・医療』の満足度得点が全体傾向に比べ低い。

* 居住意向別にみた傾向

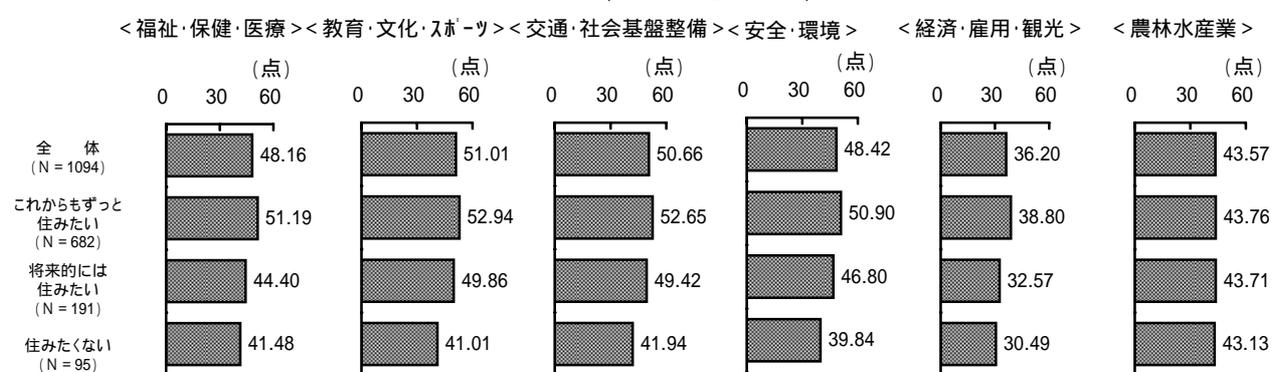
- ・これからもずっと住みたい層と住みたくない層との満足度の差が最も大きいのは『教育・文化・スポーツ』で、『安全・環境』がそれに続く。

図4(2)-3 居住地域別にみた生活環境の満足度
(平均満足度得点)



注) 数値は回収数を100とした%

図4(2)-4 居住意向別にみた生活環境の満足度
(平均満足度得点)



注) 平均満足度得点は「満足している」に100、「まあ満足している」に75、「どちらともいえない」に50、

「あまり満足していない」に25、「満足していない」「無回答」に各0のウエイトを与えて算出

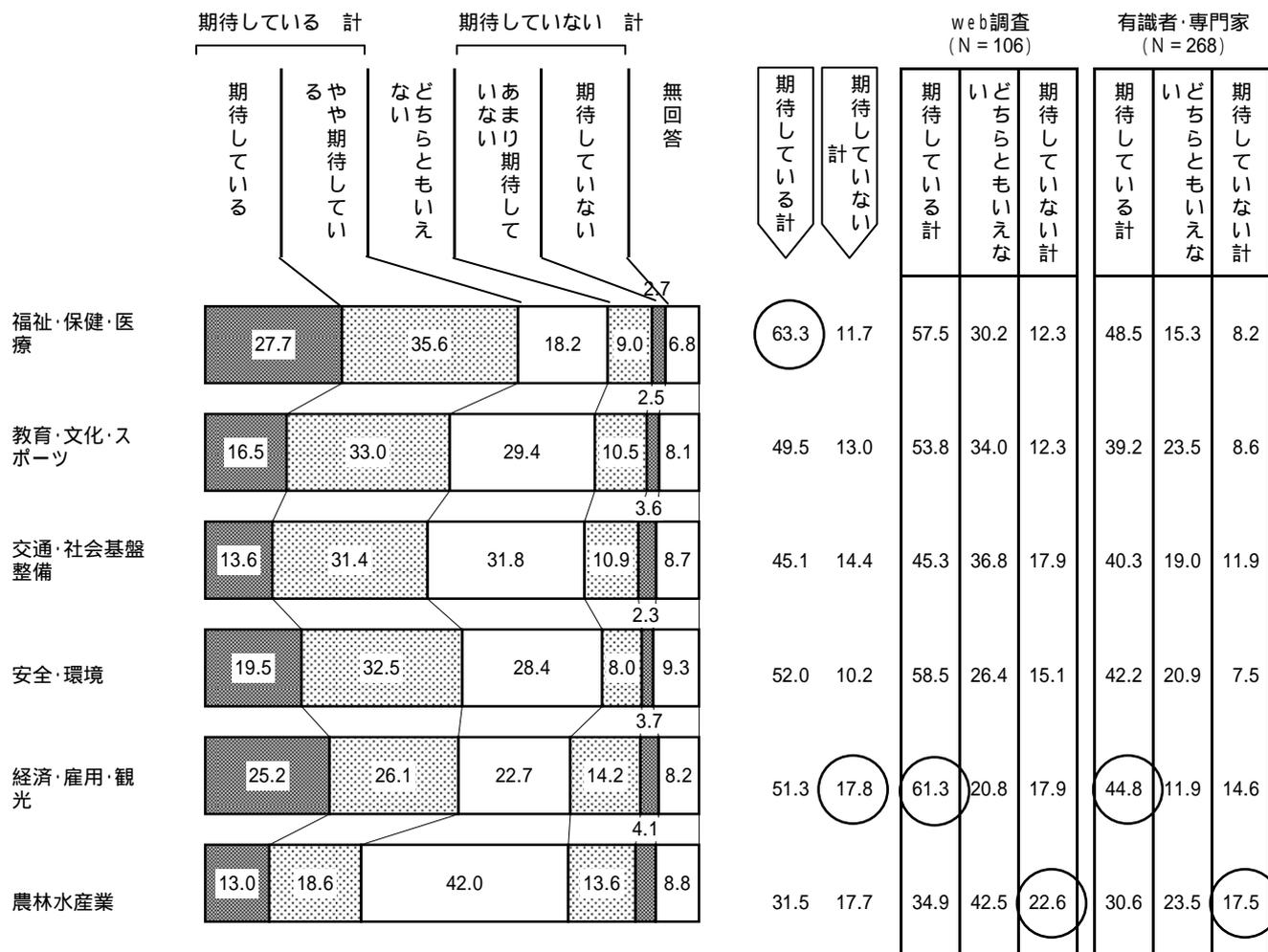
(3) 各生活環境に対する期待度

今後の期待度（力を入れてほしい度合い）については、『福祉・保健・医療』が63%で最も高い。
以下、『安全・環境』（52%）、『経済・雇用・観光』（51%）が続く。

この傾向は、参考データのweb調査や有識者・専門家調査でも同様であるが、男性や未婚者が多いweb調査では『経済・雇用・観光』への期待度がトップとなっている。

図4(3) 各生活環境に対する期待度(N = 1094)

<参考>



注) 数値は回収数を100とした%

* 性別にみた傾向

- ・各生活環境に対する期待度は、男女による差はほとんどみられない。
ただ、『交通・社会基盤整備』と『農林水産業』に関しては、男性でやや期待度が高くなっている。

表4(3) 性別にみた各生活環境に対する期待度

	回収数	福祉・保健・医療			教育・文化・スポーツ			交通・社会基盤整備		
		期待している計	どちらともいえない	期待していない計	期待している計	どちらともいえない	期待していない計	期待している計	どちらともいえない	期待していない計
全体	1094	63.3	18.2	11.7	49.5	29.4	13.0	45.1	31.8	14.4
男性	521	62.4	19.8	11.9	49.1	27.8	15.0	46.4	28.4	16.5
女性	572	64.2	16.8	11.5	49.8	30.8	11.2	43.9	34.8	12.6

	回収数	安全・環境			経済・雇用・観光			農林水産業		
		期待している計	どちらともいえない	期待していない計	期待している計	どちらともいえない	期待していない計	期待している計	どちらともいえない	期待していない計
全体	1094	52.0	28.4	10.2	51.3	22.7	17.8	31.5	42.0	17.7
男性	521	51.2	27.8	12.1	50.7	22.1	19.6	33.0	39.2	20.0
女性	572	52.8	28.8	8.6	51.7	23.3	16.3	30.2	44.6	15.7

注) 数値は回収数を100とした%

* 性・年齢・未既婚別にみた傾向

- ・ 20代既婚男性と50代女性で、全般的に生活環境に対する期待度が高い。
- ・ また、各層とも『福祉・保健・医療』面への期待が最も高い中、20代未婚層では男女を問わず、『経済・雇用・観光』への期待が最も高くなっている。
- ・ 佐賀県でのくらしが1年前と比べて低くなったと実感している男性40代や女性40・50代では、他層に比べ『経済・雇用・観光』への期待が高い。

表4(3)-2 性・年齢・未既婚別にみた各生活環境に対する期待度

	回収数	福祉・保健・医療		教育・文化・スポーツ		交通・社会基盤整備		安全・環境		経済・雇用・観光		農林水産業	
		期待している計	期待している	期待している計	期待している	期待している計	期待している	期待している計	期待している	期待している計	期待している	期待している計	期待している
全体	1094	63.3	27.7	49.5	16.5	45.1	13.6	52.0	19.5	51.3	25.2	31.5	13.0
< 性・年齢・未既婚別 >													
男性	521	62.4	26.7	49.1	16.5	46.4	15.2	51.2	18.4	50.7	26.7	33.0	14.0
20代・未婚	63	46.0	19.0	44.4	23.8	46.0	19.0	49.2	17.5	49.2	34.9	36.5	15.9
20代・既婚	29	75.9	37.9	48.3	27.6	51.7	24.1	55.2	17.2	58.6	44.8	31.0	24.1
30代・未婚	20	70.0	30.0	50.0	20.0	35.0	10.0	55.0	15.0	55.0	25.0	20.0	5.0
30代・既婚	61	62.3	31.1	47.5	16.4	41.0	14.8	47.5	23.0	49.2	27.9	27.9	8.2
40代	102	67.6	25.5	54.9	20.6	52.9	17.6	55.9	17.6	61.8	28.4	35.3	16.7
50代	114	58.8	27.2	48.2	13.2	39.5	12.3	50.9	21.1	45.6	23.7	32.5	15.8
60代以上	132	65.2	25.8	48.5	9.8	50.8	12.9	49.2	15.9	45.5	19.7	34.8	11.4
女性	572	64.2	28.7	49.8	16.4	43.9	12.2	52.8	20.5	51.7	24.0	30.2	12.1
20代・未婚	50	54.0	20.0	48.0	6.0	50.0	14.0	58.0	14.0	58.0	28.0	20.0	2.0
20代・既婚	31	67.7	29.0	54.8	22.6	32.3	9.7	51.6	19.4	58.1	19.4	16.1	3.2
30代・未婚	10	70.0	10.0	40.0	10.0	50.0	20.0	50.0	10.0	40.0	10.0	30.0	10.0
30代・既婚	81	67.9	34.6	51.9	22.2	40.7	7.4	53.1	19.8	48.1	19.8	21.0	4.9
40代	121	65.3	25.6	51.2	16.5	41.3	9.9	52.9	19.0	57.0	19.0	30.6	9.9
50代	119	70.6	32.8	52.1	15.1	47.1	13.4	57.1	21.0	58.0	33.6	39.5	18.5
60代以上	160	58.8	28.8	46.3	16.9	45.0	15.0	48.1	24.4	42.5	23.1	33.8	17.5

注) 数値は回収数を100とした%

* 居住地域別にみた傾向

- ・鳥栖市エリア居住層では『教育・文化・スポーツ』と『安全・環境』面、武雄市エリア居住層で『農林水産業』の期待が高くなっている。

* 居留意向別にみた傾向

- ・これからもずっと住みたいと強い定住意向を示している層で全般的に期待度が高い中、『福祉・保健・医療』の面に関しては、居留意向を問わず、住みたくないとしながらも（非常に）期待しているとされている。

表4(3)-3 居住地域・居留意向別にみた各生活環境に対する期待度

	回収数	福祉・保健・医療		教育・文化・スポーツ		交通・社会基盤整備		安全・環境		経済・雇用・観光		農林水産業	
		期待している計	期待している	期待している計	期待している	期待している計	期待している	期待している計	期待している	期待している計	期待している	期待している計	期待している
全体	1094	63.3	27.7	49.5	16.5	45.1	13.6	52.0	19.5	51.3	25.2	31.5	13.0
< 居住地域別 >													
佐賀市エリア	408	63.5	27.5	48.8	15.9	41.9	12.0	50.2	19.9	52.0	25.2	30.9	11.3
唐津市エリア	253	64.4	28.9	44.3	14.6	44.7	12.3	47.4	14.2	50.6	26.9	30.4	11.9
鳥栖市エリア	218	63.8	27.1	56.4	19.3	47.2	15.6	57.3	21.6	50.5	21.1	30.3	11.9
武雄市エリア	214	61.7	27.6	50.0	16.8	49.5	16.4	55.6	22.9	51.9	27.6	35.5	18.7
< 現地域への居留意向別 >													
これからもずっと住みたい	682	66.6	28.7	51.5	17.6	48.4	14.8	53.8	22.0	53.1	26.2	35.9	15.7
将来的には住みたい	191	63.4	23.0	49.2	13.6	41.4	9.9	48.7	12.6	48.2	24.6	28.8	8.9
住みたくない	95	60.0	33.7	45.3	17.9	38.9	12.6	48.4	12.6	52.6	17.9	20.0	6.3

注) 数値は回収数を100とした%

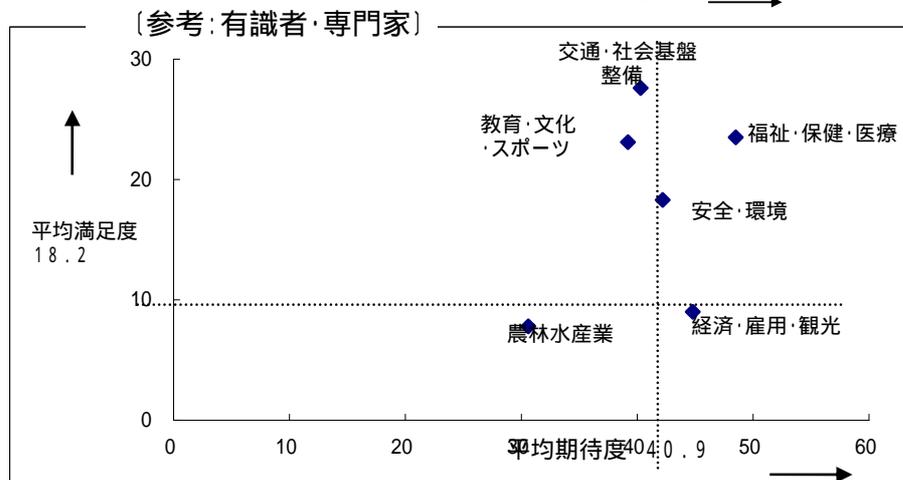
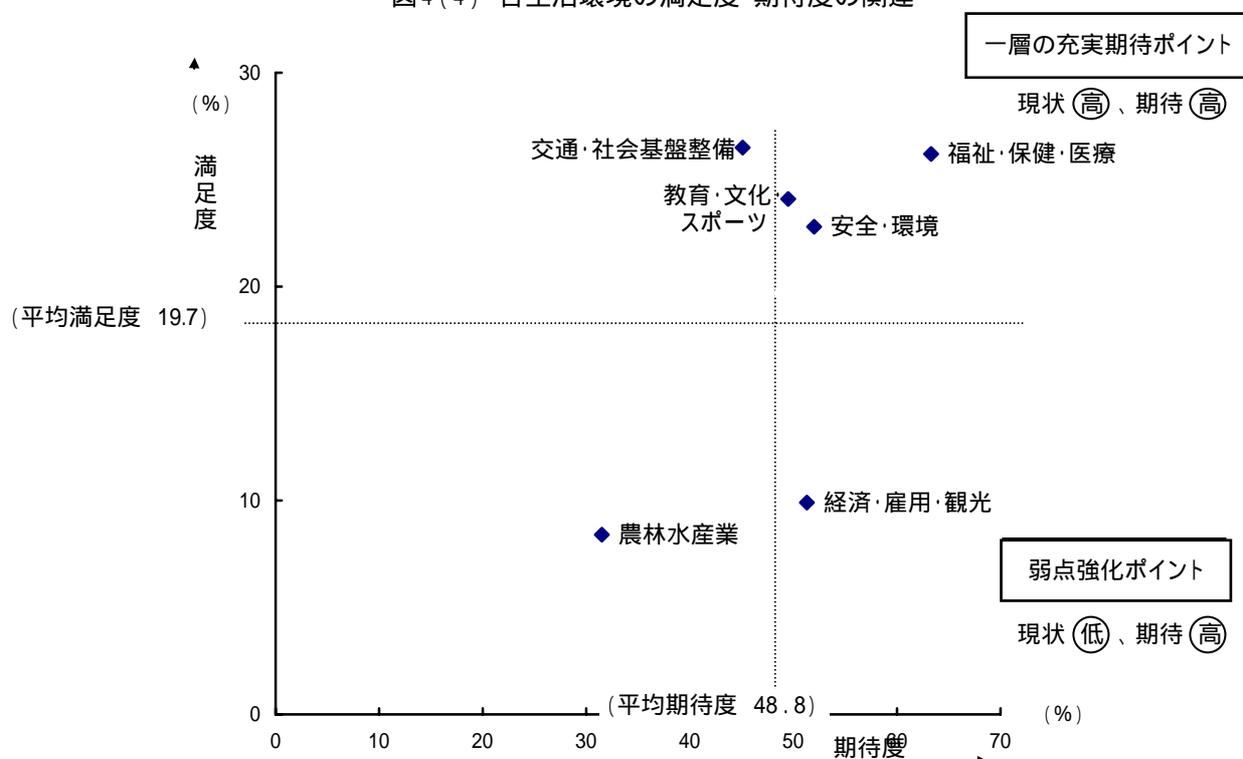
(4) 各生活環境の満足度・期待度の関連

* 現状満足度と今後の期待度から各生活環境面をポジショニングしてみた。

現状満足度が2番目に低かった「経済・雇用・観光」面の強化が最大の課題となっている。また、比較的満足度の高かった「福祉・保健・医療」「安全・環境」「教育・文化・スポーツ」面においても引き続き、一層の充実を望まれている。

参考データの有識者・専門家調査においても「経済・雇用・観光」面の強化ならびに「福祉・保健・医療」「安全・環境」面の一層の充実を期待されている。

図4(4) 各生活環境の満足度・期待度の関連



5. 総合満足度

(1) 1年前と比べた満足度の変化

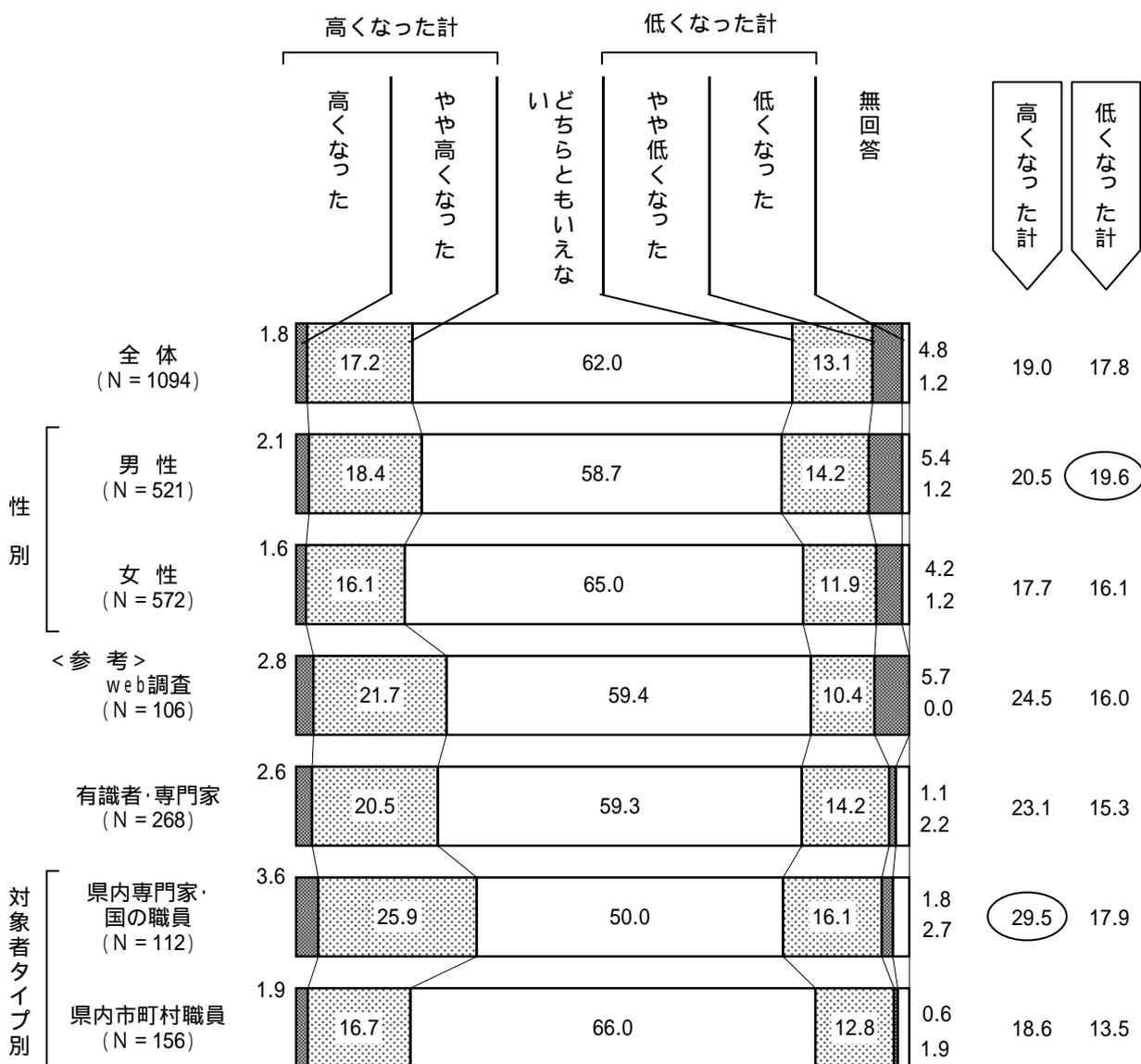
佐賀県でのくらしを全体的にみて、満足度が1年前と比べて「高くなった」という人は19%、「低くなった」人は18%と、ほぼ同じ割合となっている。
62%の人が「どちらともいえない」という状況にある。

性別にみても、「高くなった」「低くなった」はほぼ同割合であり、女性の方が「どちらともいえない」という回答が高くなっている。

参考データの有識者・専門家調査の結果をみると、県民では「高くなった」「低くなった」との回答が分かれていたものの、有識者・専門家では「高くなった」との回答が「低くなった」を上回る。

特に、県内専門家・国の職員でその差が大きく、3割近い人が「高くなった」と評価している。

図5(1) 1年前と比べた満足度の変化



注) 数値は回収数を100とした%

* 階層別にみた傾向

- 各層とも「どちらともいえない」の回答が多いため、「高くなった」「低くなった」に着目してみた。
「高くなった」との意識が高いのは、30代未婚男性、60代以上男性、20・30代未婚女性。
「低くなった」との意識が高いのは、40・50代男性と40代女性
- 居住地域別にみると、生活環境面の満足度も低調だった唐津市エリア居住層で「低くなった」との意識が高い。

表5(1) 1年前と比べた満足度の変化(階層別)

	回 収 数	計高 くな った	いど えち なら いとも	計低 くな った
全 体	1094	19.0	62.0	17.8
< 性・年齢・未婚別 >				
男 性	521	20.5	58.7	19.6
20代・未婚	63	22.2	65.1	11.1
20代・既婚	29	20.7	69.0	10.3
30代・未婚	20	25.0	60.0	15.0
30代・既婚	61	16.4	62.3	19.7
40代	102	19.6	53.9	26.5
50代	114	15.8	54.4	28.1
60代以上	132	25.8	59.1	13.6
女 性	572	17.7	65.0	16.1
20代・未婚	50	30.0	62.0	6.0
20代・既婚	31	19.4	74.2	6.5
30代・未婚	10	30.0	60.0	10.0
30代・既婚	81	19.8	71.6	7.4
40代	121	11.6	62.0	25.6
50代	119	18.5	59.7	21.0
60代以上	160	15.6	67.5	15.0
< 居住年数別 >				
40年以上	320	17.8	59.1	21.6
20～40年未満	394	21.3	62.7	15.5
5～20年未満	253	15.8	63.6	18.6
5年未満	127	21.3	63.8	14.2
< 居住地域別 >				
佐賀市エリア	408	21.6	62.0	15.0
唐津市エリア	253	17.4	58.5	23.3
鳥栖市エリア	218	18.8	62.4	17.9
武雄市エリア	214	15.9	65.9	16.8

	回 収 数	計高 くな った	いど えち なら いとも	計低 くな った
全 体	1094	19.0	62.0	17.8
< 1年前と比べた満足度変化別(福祉・保健・医療) >				
高くなった計	177	40.1	48.0	11.9
どちらともいえない	658	15.8	69.6	13.7
低くなった計	181	9.4	48.6	40.3
< 1年前と比べた満足度変化別(教育・文化・スポーツ) >				
高くなった計	148	41.2	48.0	10.1
どちらともいえない	727	15.4	68.1	15.8
低くなった計	115	8.7	45.2	43.5
< 1年前と比べた満足度変化別(交通・社会基盤整備) >				
高くなった計	262	32.8	53.4	13.4
どちらともいえない	616	13.5	70.8	14.9
低くなった計	101	8.9	38.6	49.5
< 1年前と比べた満足度変化別(安全・環境) >				
高くなった計	154	37.7	47.4	13.6
どちらともいえない	651	14.9	69.1	14.9
低くなった計	175	13.7	52.6	33.7
< 1年前と比べた満足度変化別(経済・雇用・観光) >				
高くなった計	76	61.8	35.5	2.6
どちらともいえない	544	16.0	74.1	9.2
低くなった計	368	13.0	51.4	34.5
< 1年前と比べた満足度変化別(農林水産業) >				
高くなった計	34	64.7	32.4	2.9
どちらともいえない	735	18.0	67.3	13.7
低くなった計	214	12.6	52.3	34.1

注) 数値は回収数を100とした%

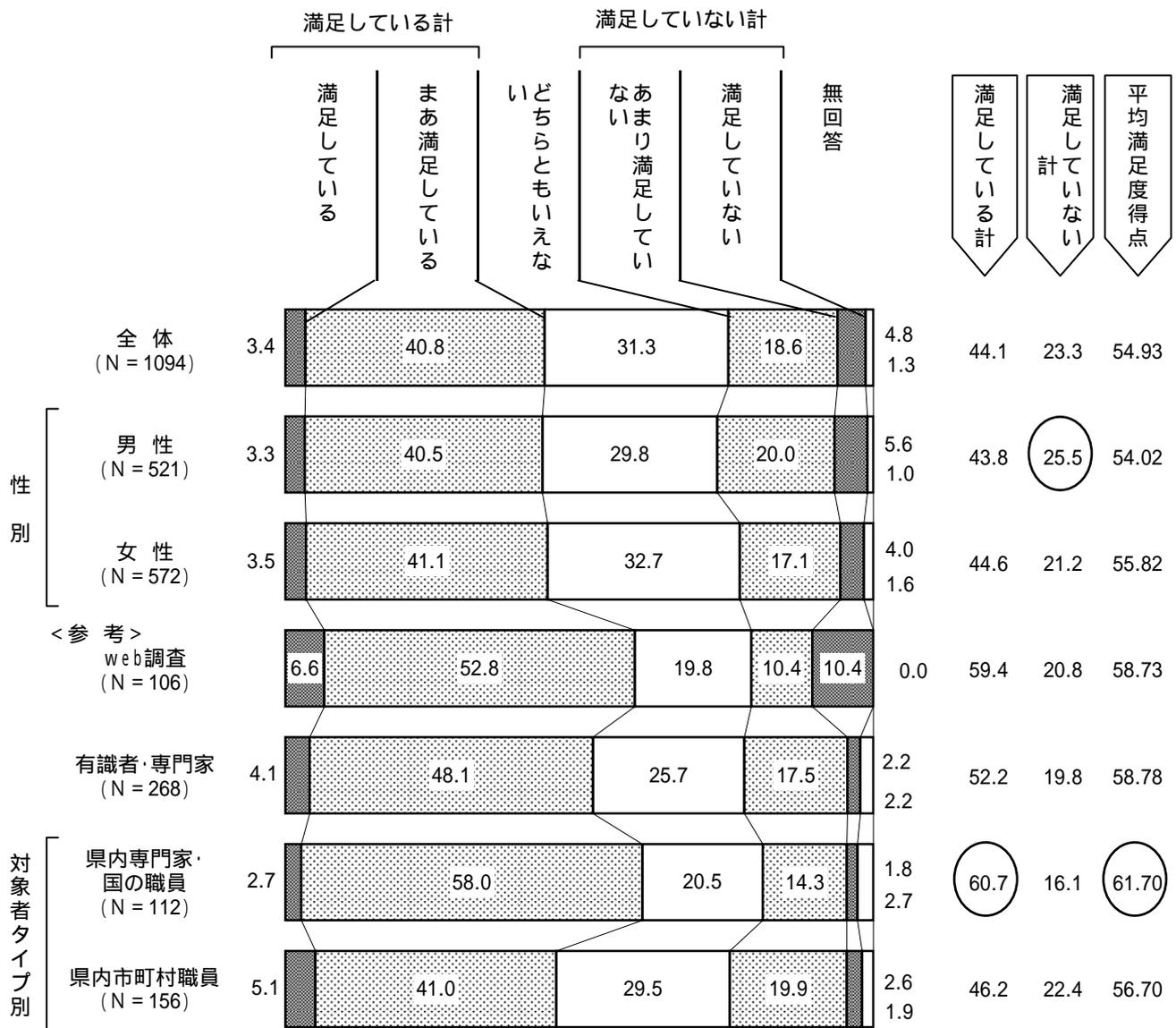
(2)「佐賀県での暮らし」の総合満足度

佐賀県での暮らしを総合的にみて、44%の人が「満足（満足+まあ満足）」している。ただ、満足度レベルとしては、「満足している」と高評価した人は3%で、ほとんどが「まあ満足している」（41%）といったレベルである。

性別にみると、各生活環境面においても女性でやや満足度が高かったこともあり、総合的な満足度においても僅かではあるが、女性でやや高い。

参考データの有識者・専門家調査の結果をみると、県民に比べ総合的な満足度が8ポイントほど高い。中でも、県内専門家・国の職員で高くなっている。

図5(2)「佐賀県での暮らし」の総合満足度



注) 数値は回収数を100とした%

平均満足度得点は「満足している」に100、「まあ満足している」に75、「どちらともいえない」に50、「あまり満足していない」に25、「満足していない」「無回答」に各0のウエイトを与えて算出

* 階層別にみた傾向

- ・佐賀県での暮らしへの総合満足度が最も高いのは、20代既婚女性で6割近くが「満足」し、平均満足度得点も62.9点で最も高い。
次いで、60代以上の高年齢層で「満足している」率、平均満足度得点とも高くなっている。
また、平均満足度得点で見ると20代既婚男性でも高い。
この層では「満足している」率は全体平均と同じ程度であるが、「満足していない」率が極端に低い。
- ・居住地域別にみると、唐津市エリア居住層では3割近くが「満足していない」と回答し、平均満足度得点も50.9点と最も低い。
それ以外のエリアに関しては、同程度の満足度得点となっている。

表5(2) 階層別にみた「佐賀県での暮らし」の総合満足度

	回収数	満足している計	どちらともいえない	満足していない計	平均満足度得点
全体	1094	44.1	31.3	23.3	54.93
< 性・年齢・未既婚別 >					
男性	521	43.8	29.8	25.5	54.02
20代・未婚	63	38.1	38.1	22.2	52.82
20代・既婚	29	44.8	48.3	6.9	59.48
30代・未婚	20	30.0	30.0	40.0	48.75
30代・既婚	61	41.0	31.1	26.2	53.33
40代	102	38.2	26.5	35.3	48.04
50代	114	45.6	28.1	24.6	54.69
60代以上	132	52.3	25.0	22.0	58.59
女性	572	44.6	32.7	21.2	55.82
20代・未婚	50	50.0	24.0	24.0	55.61
20代・既婚	31	58.1	25.8	16.1	62.90
30代・未婚	10	30.0	60.0	10.0	52.50
30代・既婚	81	39.5	44.4	14.8	55.31
40代	121	33.9	38.0	27.3	50.83
50代	119	44.5	31.9	21.8	55.13
60代以上	160	51.9	25.6	20.0	59.29

	回収数	満足している計	どちらともいえない	満足していない計	平均満足度得点
全体	1094	44.1	31.3	23.3	54.93
< 居住年数別 >					
40年以上	320	48.4	25.9	24.4	56.49
20～40年未満	394	45.7	32.0	21.3	56.09
5～20年未満	253	37.2	33.6	27.3	50.81
5年未満	127	42.5	37.8	18.9	55.56
< 居住地域別 >					
佐賀市エリア	408	46.8	30.1	21.6	56.41
唐津市エリア	253	36.8	33.6	28.9	50.90
鳥栖市エリア	218	46.3	31.2	21.6	56.13
武雄市エリア	214	45.8	30.4	22.0	55.71

注) 数値は回収数を100とした%

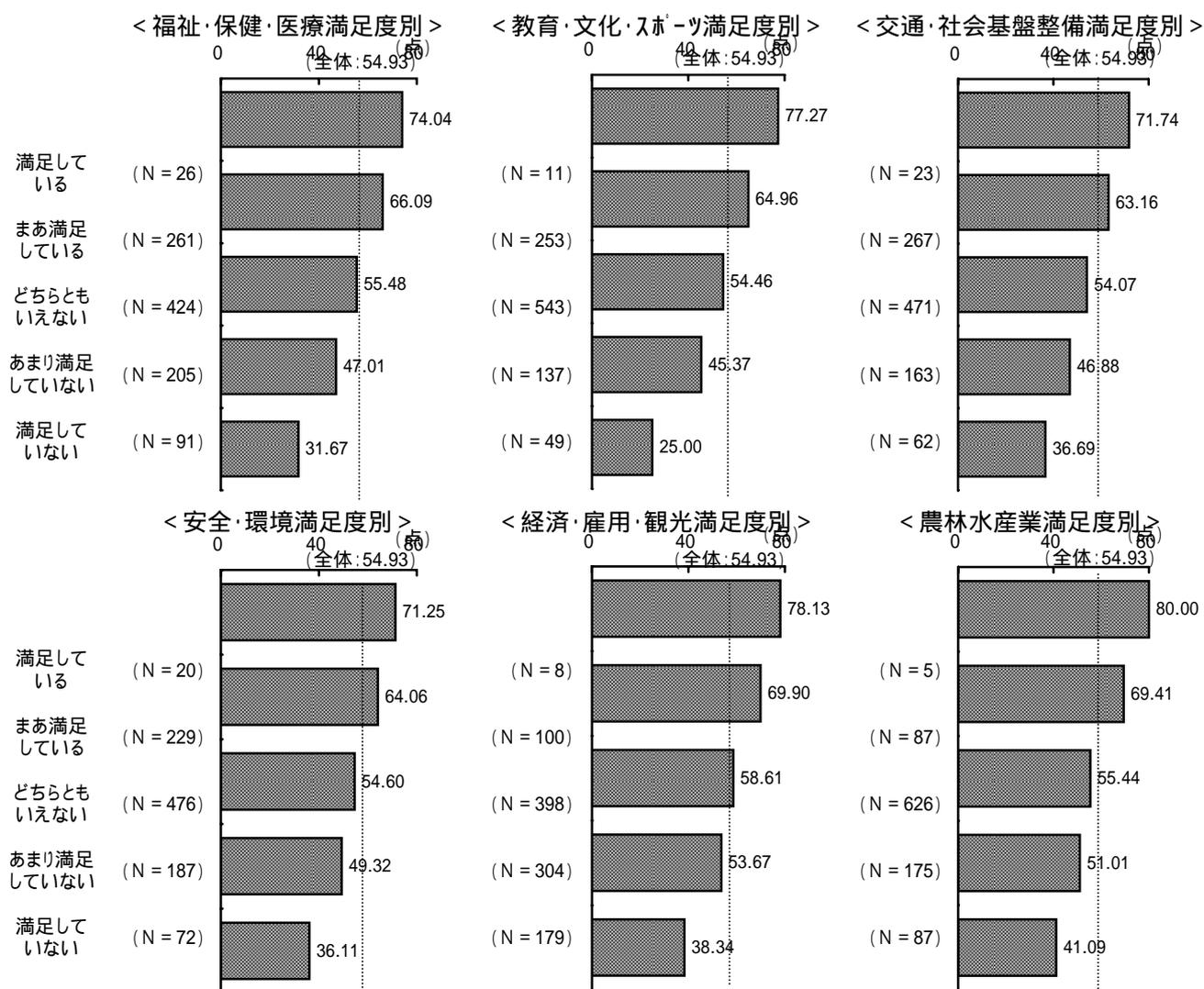
* 各生活環境面の満足度別にみた傾向

- ・各生活環境面の満足している層と満足していない層で、総合満足度にどれくらいの差があるかをみてみた。

最も総合満足度得点の差が大きいのは、『教育・文化・スポーツ』面で、52.3ポイントの差がみられた。

次いで、『福祉・保健・医療』面で42.4ポイント、『経済・雇用・観光』面で39.8ポイントの差となり、大きい。

図5(2)-2 各生活環境面の満足度別にみた総合満足度
(平均満足度得点)



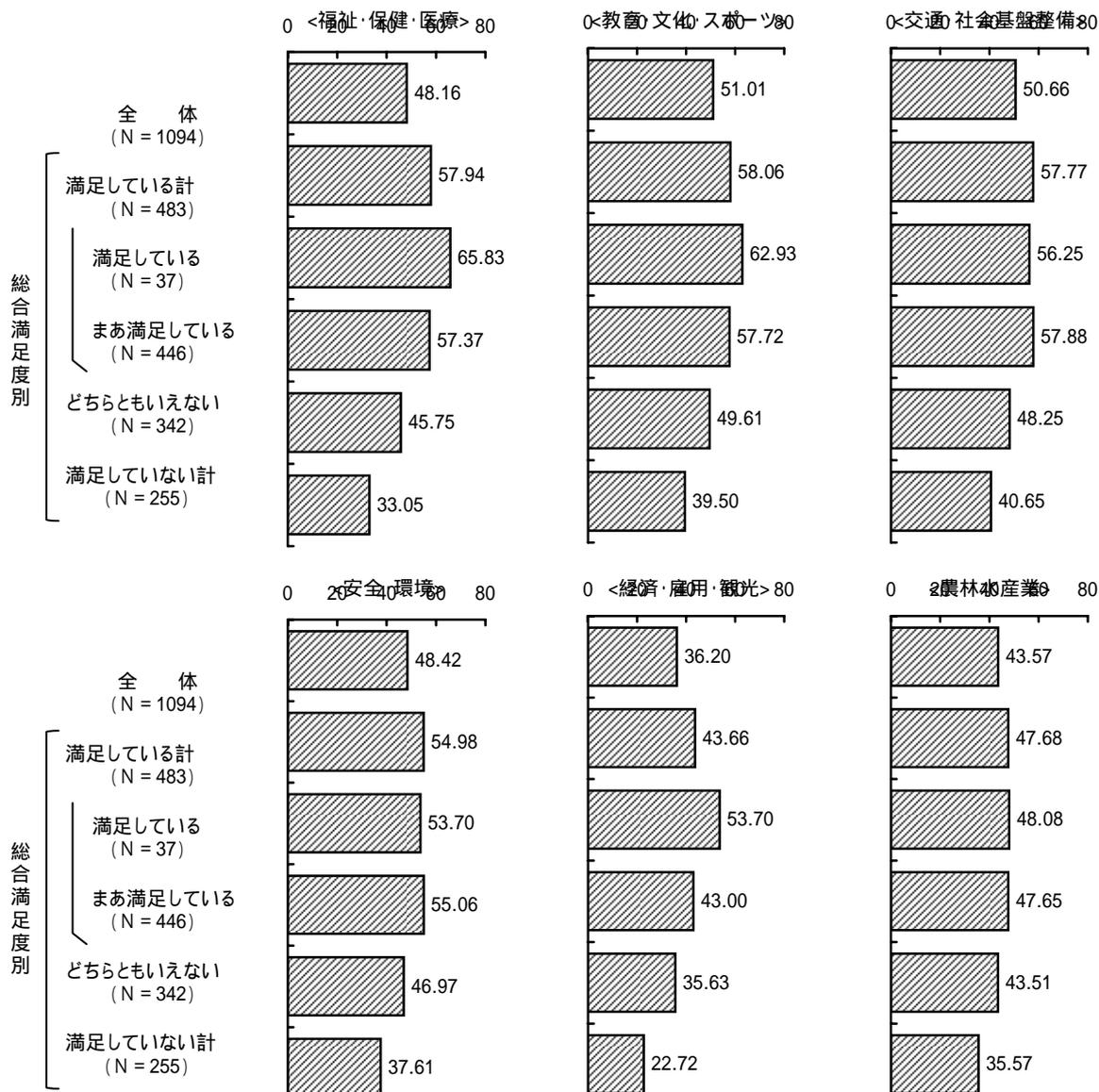
注) 平均満足度得点は「満足している」に100、「まあ満足している」に75、「どちらともいえない」に50、「あまり満足していない」に25、「満足していない」「無回答」に各0のウエイトを与えて算出

(3) 総合満足度別にみた生活環境面の満足度

佐賀県での暮らしに総合的に満足している層では、それぞれの生活環境面においても平均満足度得点が高い。
中でも、「教育・文化・スポーツ」「福祉・保健・医療」「交通・社会基盤整備」の満足度得点が57.58点台で高くなっている。

ただ、佐賀県での暮らしに総合的に満足している層でも、「経済・雇用・観光」面の平均満足度得点は43.66点で、6環境面のうち最も低い。

図5(3) 総合満足度別にみた生活環境面の満足度(平均満足度得点)



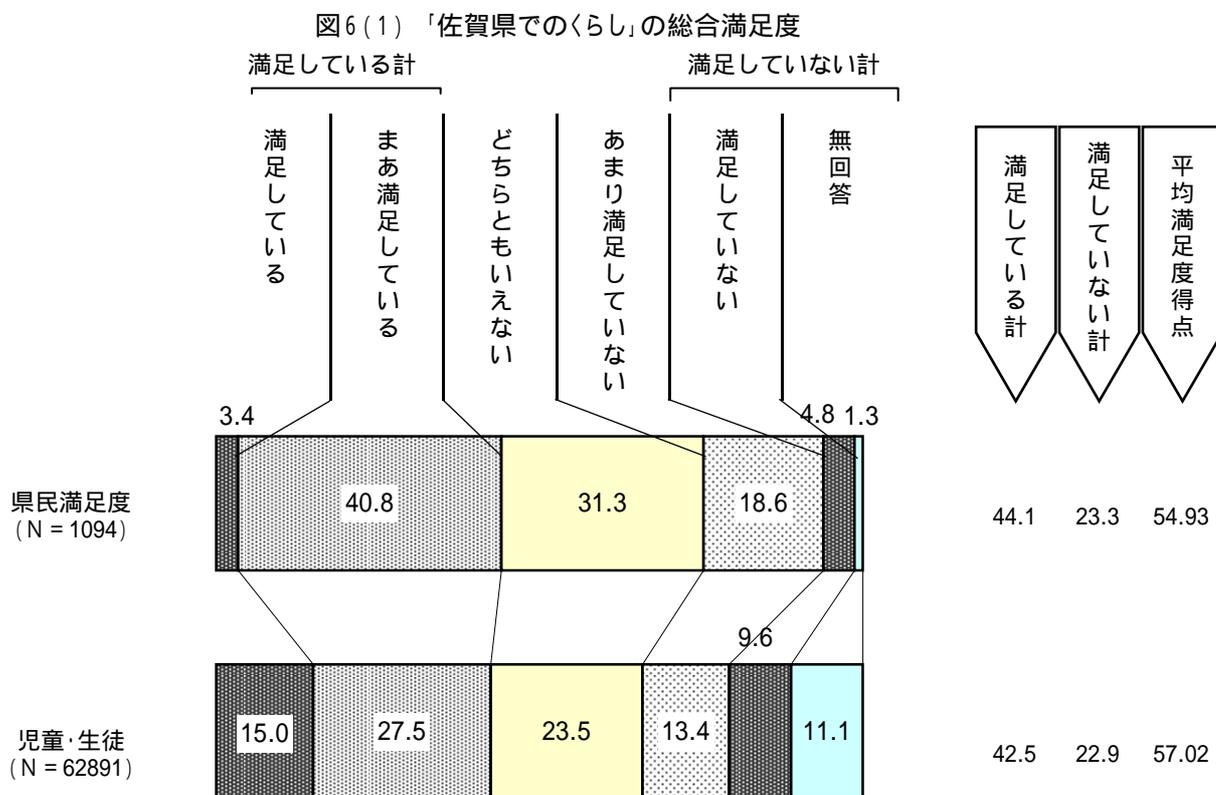
注) 平均満足度得点は「満足している」に100、「まあ満足している」に75、「どちらともいえない」に50、「あまり満足していない」に25、「満足していない」「無回答」に各0のウエイトを与えて算出

6. 児童生徒満足度調査との比較

(1) 総合満足度の比較

佐賀県でのくらしを総合的にみた満足度（満足している計）は、県民と児童・生徒ではさほど差はみられない（県民：44%、児童・生徒：43%）。

ただ、満足度レベルでは差がみられ、児童・生徒では「満足している」人が15%で満足者（43%）の1/3程度を占めているのに対し、県民では「満足している」人が3%で「まあ満足している」（41%）といったレベルの人が大半である。



注) 数値は回収数を100とした%

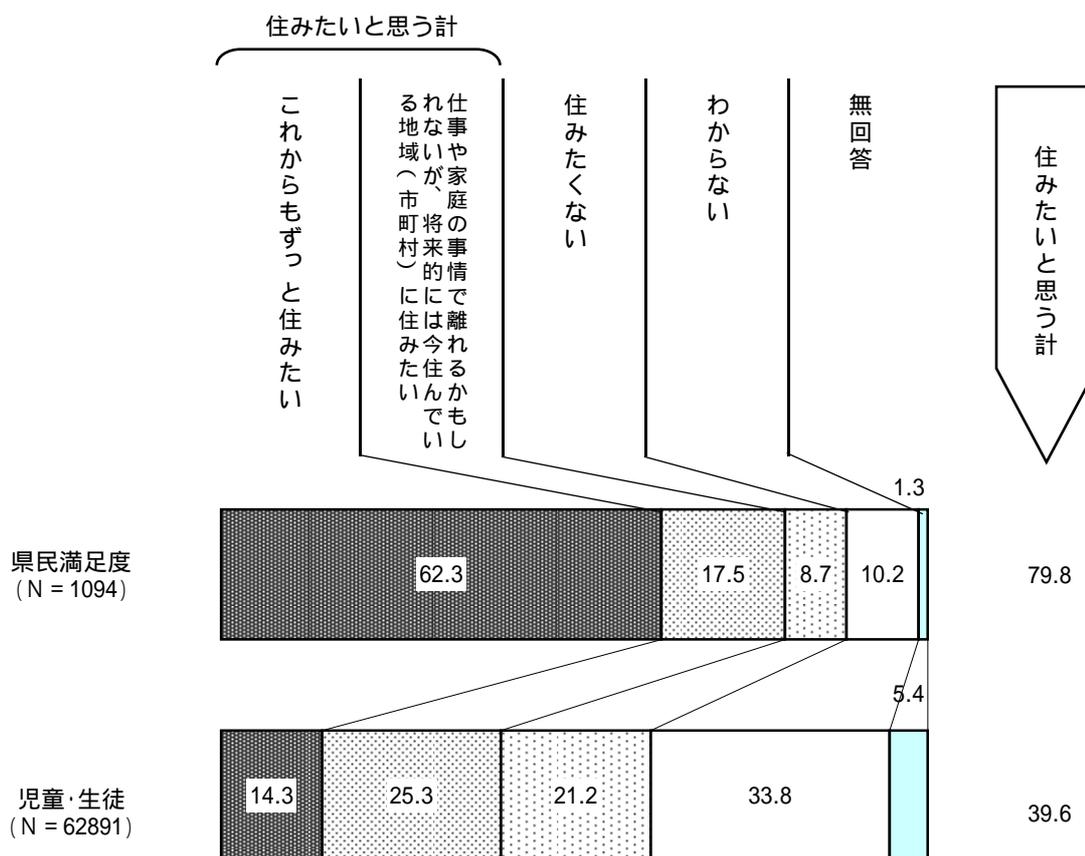
平均満足度得点は「満足している」に100、「まあ満足している」に75、「どちらともいえない」に50、「あまり満足していない」に25、「満足していない」「無回答」に各0のウエイトを与えて算出

(2) 定住意向の比較

県民の80%が「佐賀県」での定住意向を示している。
それに対し、児童・生徒では「わからない」人が34%と多く、定住意向を現段階で示す人は40%である。

定住意向の強さでみると、県民では「これからも今住んでいる地域にずっと住みたい」(62%)と強い定住意識者が大半を占める中、児童・生徒では「仕事や家庭の事情で離れるかもしれないが、将来的には今住んでいる地域(市町村)に住みたい」(25%)との意向の方が高い。

図6(2) 「佐賀県」での定住意向



注) 数値は回収数を100とした%